



令和7年3月吉日

生徒・保護者各位

学校法人仙台育英学園

理事長 加藤 雄彦

令和6年度 学校評価の結果について（ご報告）

早春の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本学園の学校評価委員会は、昨年10月に学校評価に関するアンケート調査を実施いたしました。その際、生徒並びに保護者の皆様にご協力をたまわり誠にありがとうございました。

そして、この結果及び分析・考察につきまして、生徒対象・保護者対象の代表的な質問項目に絞り、HPに掲載をいたしましたので、是非ご一読をお願いいたします。

今後ともこの学校評価（アンケート調査）を継続して実施いたします。また、今回の評価結果につきましては、全教職員で共有し、本学園の教育活動の改善に有効活用しながら、生徒並びに保護者の皆様のご意向に応えられるよう努力して参ります。

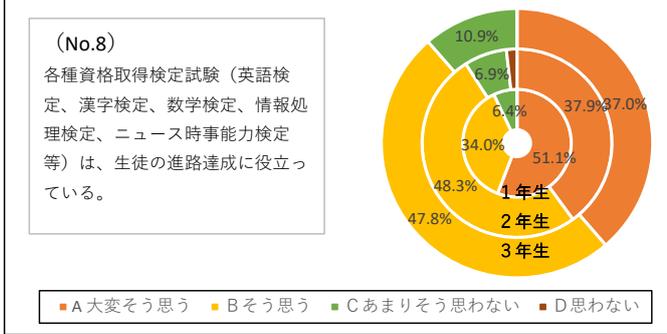
調査結果と考察

1 秀光中学校・秀光コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
 評価平均値 = (A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【分析・考察】

○大学受験に向けて英語をはじめとする外部試験の結果が必要となる。個別での面談を繰り返して進路選択の助言をしていることが、特に3学年での結果に表れているものと思う。(A-8)

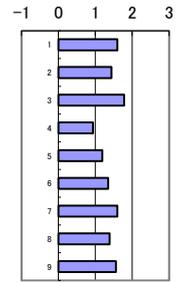
○各種資格試験に対応できるのみならず、MYP集大成のPPやDP取得に向けた学習のため、質問や相談に応じる点でも生徒の満足度は高い。(A-11)

○IBDPの大学入試は一人ひとりの選択が全く異なり、進路に関する指導は個別対応が求められる。教員が生徒の多様性に応じてきめ細かい指導をしてきたことが功を奏している。今後も丁寧に指導していきたい。

【表A】

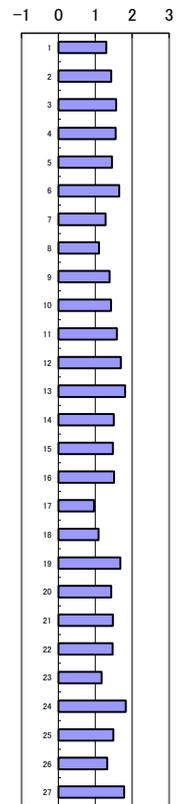
I 授業について

No.	設問	1年生	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	40.4%	44.7%	6.3%	0.0%	1.6
		2年生	32.8%	51.7%	1.2%	1.7%	1.4
		3年生	45.7%	45.7%	4.3%	0.0%	1.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	21.3%	42.6%	12.8%	0.0%	0.9
		2年生	22.4%	63.8%	6.9%	1.7%	1.2
		3年生	32.6%	50.0%	13.0%	0.0%	1.3
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	42.6%	40.4%	8.5%	0.0%	1.6
		2年生	31.0%	56.9%	6.3%	1.7%	1.4
		3年生	34.7%	56.5%	4.3%	0.0%	1.6



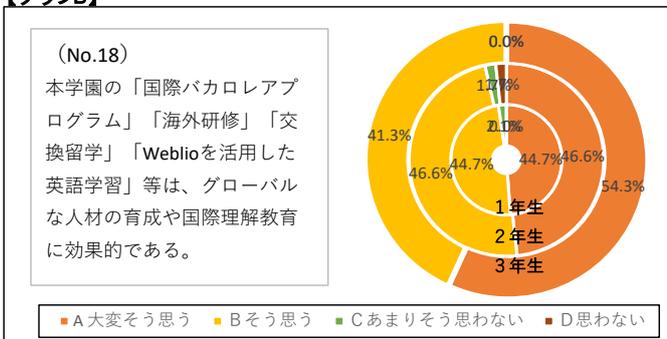
II 教育課程について

No.	設問	1年生	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	31.9%	46.8%	12.8%	0.0%	1.3
		2年生	37.9%	46.6%	6.9%	3.4%	1.4
		3年生	41.3%	45.7%	6.5%	2.2%	1.6
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	36.2%	51.1%	4.3%	0.0%	1.6
		2年生	34.5%	53.4%	6.9%	1.7%	1.4
		3年生	39.1%	52.2%	4.3%	0.0%	1.7
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	29.8%	48.9%	10.6%	0.0%	1.3
		2年生	31.0%	44.8%	17.2%	3.4%	1.1
		3年生	32.6%	52.2%	10.9%	0.0%	1.4
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	36.2%	44.7%	10.6%	0.0%	1.4
		2年生	37.9%	53.4%	3.4%	1.7%	1.6
		3年生	43.5%	47.8%	2.2%	2.2%	1.7
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	51.1%	34.0%	6.4%	0.0%	1.8
		2年生	37.9%	48.3%	6.9%	1.7%	1.5
		3年生	37.0%	47.8%	10.9%	0.0%	1.5
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	40.4%	40.4%	10.6%	0.0%	1.5
		2年生	27.6%	46.6%	17.2%	5.2%	1.0
		3年生	32.6%	43.5%	13.0%	6.5%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	46.8%	36.2%	8.5%	0.0%	1.7
		2年生	34.5%	60.3%	5.2%	5.2%	1.4
		3年生	32.6%	56.5%	6.5%	0.0%	1.5
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	38.3%	44.7%	6.4%	2.1%	1.5
		2年生	29.3%	43.1%	8.6%	1.7%	1.2
		3年生	45.7%	47.8%	2.1%	0.0%	1.8
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	42.6%	34.0%	12.8%	0.0%	1.5
		2年生	29.3%	55.1%	10.3%	0.0%	1.3
		3年生	41.3%	54.3%	0.0%	0.0%	1.8



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



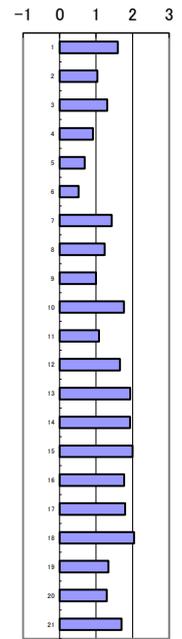
【分析・考察】

○秀光祭は、それぞれの学年が少ない時間の中で、懸命に準備を重ね、素晴らしい成果を上げたことを認め合った結果である。成果発表の場として好意的に受け止められている。(B-16)

○全てのELDPの留学生、外国人教員を宮城野校舎に移して、MYP、DPを秀光に集約した取り組みはIBプログラムを成熟させるのに、役立ったと思われる。(B-18)

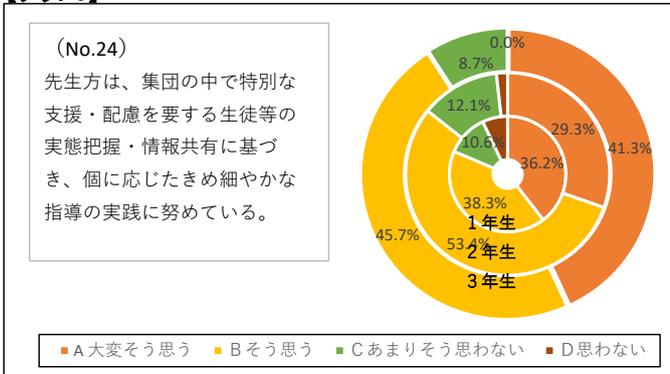
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	44.7%	36.2%	10.6%	0.0%	1.6
		2年生	27.6%	50.0%	13.8%	5.2%	1.0
		3年生	30.4%	52.2%	13.0%	0.0%	1.3
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	23.4%	48.9%	14.9%	4.3%	0.9
		2年生	17.2%	56.9%	19.0%	6.8%	0.7
		3年生	23.9%	52.2%	13.0%	19.6%	0.5
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	36.2%	44.7%	10.6%	0.0%	1.4
		2年生	34.5%	50.0%	8.6%	7.1%	1.2
		3年生	39.1%	45.7%	4.3%	19.6%	1.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	46.8%	40.4%	4.3%	0.0%	1.8
		2年生	34.5%	43.1%	17.9%	6.8%	1.1
		3年生	45.7%	41.3%	6.5%	2.1%	1.7
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲運連根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	55.3%	31.9%	4.3%	0.0%	1.9
		2年生	53.4%	41.4%	3.4%	1.7%	1.9
		3年生	56.5%	34.8%	4.3%	0.0%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	44.7%	44.7%	2.1%	0.0%	1.8
		2年生	46.6%	46.6%	1.7%	1.7%	1.8
		3年生	54.3%	41.3%	0.0%	0.0%	2.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	31.9%	48.9%	10.6%	0.0%	1.3
		2年生	31.0%	51.7%	10.3%	1.7%	1.3
		3年生	40.0%	54.3%	4.3%	0.0%	1.7



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

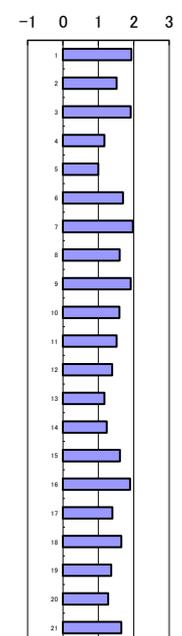
○前年に引き続き、個々の生徒に応じた指導を徹底できていることで、教員と生徒との人間関係が良好であることを示している。生徒たちが安心して学校生活に取り組んでいると捉えられる。(C-24)

○秀光コース・中学校の教員間のアットホームな雰囲気が生徒にも安心感を与えていると考えられる。

○全体的には高い評価であるが、1, 2学年に少数ではあるものの「あまりそう思わない」の回答も見られるため、今後も丁寧に生徒一人一人に対応していきたい。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	55.3%	31.9%	4.3%	0.0%	1.9
		2年生	43.1%	41.4%	8.6%	3.4%	1.5
		3年生	50.0%	43.5%	2.1%	0.0%	1.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	29.8%	44.7%	17.0%	0.0%	1.2
		2年生	27.6%	48.3%	15.5%	5.2%	1.0
		3年生	45.7%	41.3%	8.7%	0.0%	1.7
22	本学園はClassyやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	55.3%	34.0%	2.1%	0.0%	2.0
		2年生	39.7%	50.0%	3.4%	1.7%	1.6
		3年生	50.0%	43.5%	2.1%	0.0%	1.9
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	40.4%	44.7%	6.4%	0.0%	1.6
		2年生	41.4%	44.8%	6.9%	3.4%	1.5
		3年生	32.6%	54.3%	6.5%	2.2%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	36.2%	38.3%	10.6%	6.4%	1.2
		2年生	29.3%	53.4%	12.1%	1.7%	1.2
		3年生	41.3%	45.7%	8.7%	0.0%	1.6
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	48.9%	42.6%	0.0%	0.0%	1.9
		2年生	34.5%	51.7%	5.2%	3.4%	1.4
		3年生	41.3%	47.8%	6.5%	0.0%	1.7
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	44.7%	10.6%	8.1%	0.0%	1.4
		2年生	27.6%	58.6%	8.6%	1.7%	1.3
		3年生	37.0%	56.5%	2.2%	0.0%	1.7



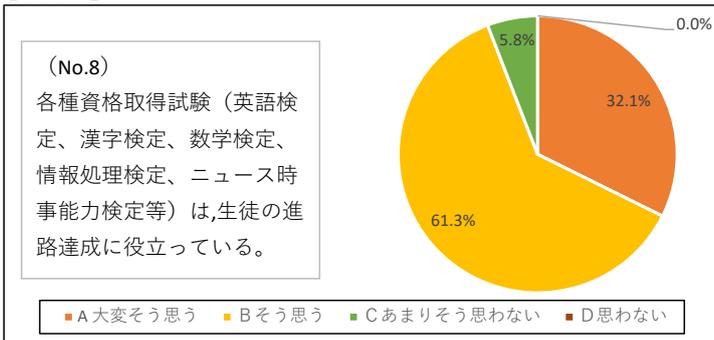
調査結果と考察

1 秀光中学校・秀光コース

(2)保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

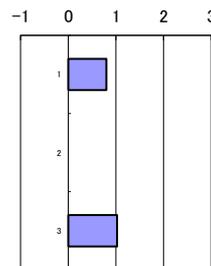
【分析・考察】

○漢検、数検に加えIB生は大学入試の際求められる英検、TOEFL、TOEIC、TEAP、IELSTS等の英語の外部試験を高1、高2までに取得させる必要がある。(A-8)
 ○IBのELDPも秀光に移ったことに伴い、外国人講師の教員も秀光コースに配属となり、英語教員のみならずネイティブスピーカーである彼らに指導してもらうことも可能になった。
 ○これらのことが、昨年度よりも保護者の満足につながっていると思われる。今後も、生徒の進路達成のために推進していきたい。

【表A】

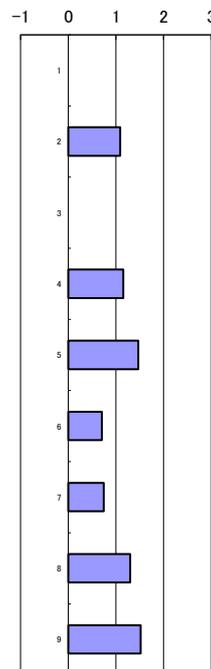
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	10.9%	59.9%	12.4%	0.0%	0.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	15.3%	54.7%	19.7%	0.0%	#####
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	21.2%	56.9%	16.1%	0.7%	1.0



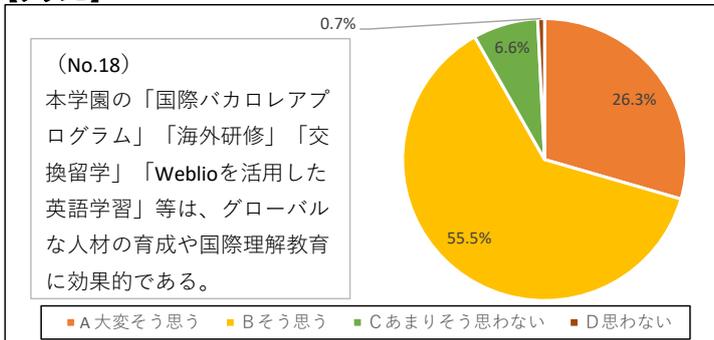
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	22.6%	57.7%	10.2%	0.0%	#####
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	22.6%	54.0%	10.9%	0.7%	1.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	19.0%	54.0%	15.3%	0.0%	#####
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	27.7%	47.4%	13.1%	0.7%	1.2
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	31.4%	61.3%	6.6%	0.7%	1.5
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	13.1%	54.7%	19.0%	1.5%	0.7
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	10.9%	59.1%	15.3%	0.7%	0.7
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	27.7%	56.9%	8.0%	0.7%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	32.1%	61.3%	5.8%	0.0%	1.5



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



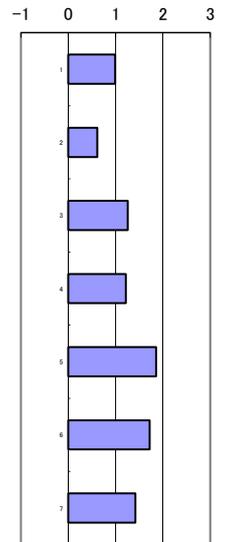
【分析・考察】

○秀光中学校・秀光コースでは、IBを実践し、MYPに引き続きDPのプログラムに沿った指導を行っている。IB教育によって得られるATLスキル（思考、コミュニケーション、社会性、自己管理、リサーチ）はグローバルな視点で社会で生きていく上で必要な能力である。
 ○2週間に渡るカナダGLA、Weblioの活用は国際理解に十分役立っていると思われる。
 ○今後もIBプログラムを実践していくとともに、カナダGLAやWeblio等が将来効果をもたらすように、事前事後学習の徹底を図りたい。

【表B】

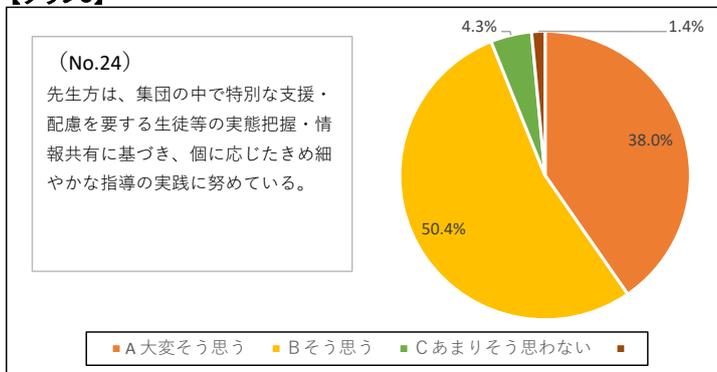
に

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	19.7%	55.5%	15.3%	0.0%	1.0
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	11.7%	54.0%	21.2%	2.2%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	26.3%	55.5%	6.6%	0.7%	1.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	29.2%	47.4%	10.9%	0.7%	1.2
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	48.2%	45.3%	2.1%	0.7%	1.9
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	41.6%	50.4%	2.9%	0.0%	1.7
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	31.4%	56.2%	8.6%	0.0%	1.4



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

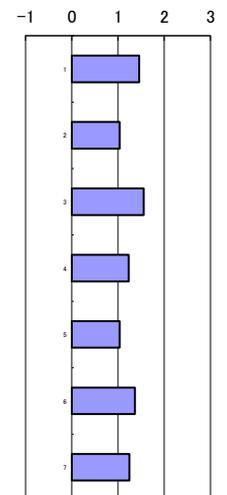
○秀光は中学校もあり、それぞれ多様な背景がある場合にも、生徒、保護者、外部の団体に対してきめ細やかな対応が求められる。

○Classiは、生徒と教員、保護者と教員をつなぐよきツールになっており、各学年で有効に活用され、信頼関係構築の一助となっている。

○教員がさまざまな生徒、保護者への対応をしていることが保護者の高評価につながっている。コースとしても少数でIBプログラムを実践する教員のワークバランスを管理職として図っていく必要がある。(C-24)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	33.6%	51.8%	6.6%	0.0%	1.5
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	24.1%	50.4%	14.6%	1.4%	1.0
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	38.0%	50.4%	4.3%	1.4%	1.6
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	29.9%	48.9%	13.1%	0.7%	1.2
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	22.6%	54.0%	13.9%	1.4%	1.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	28.5%	56.2%	5.1%	0.0%	1.4
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	25.5%	57.7%	7.3%	0.7%	1.2



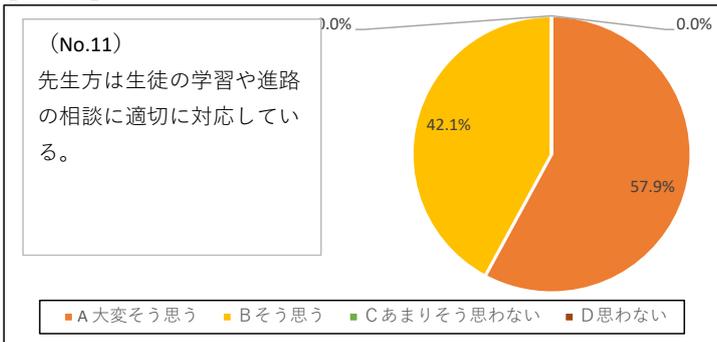
調査結果と考察

1 秀光中学校・秀光コース

(3) 教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

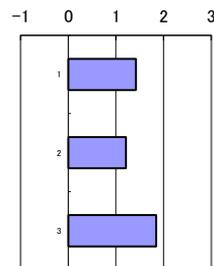
【グラフA】



【表A】

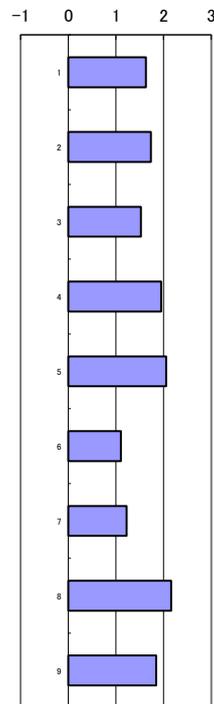
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%	1.4
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	31.6%	47.4%	21.1%	0.0%	1.2
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	47.4%	47.4%	5.3%	0.0%	1.8



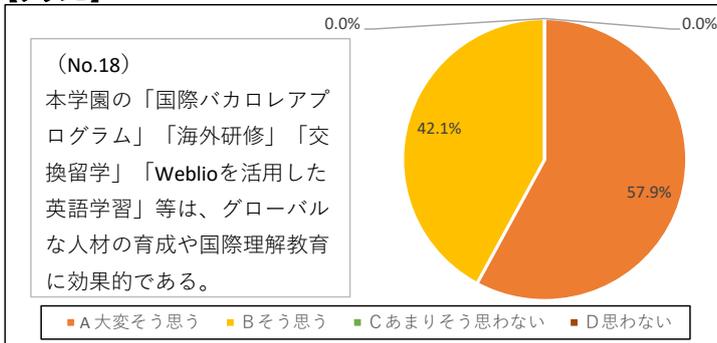
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	36.8%	57.9%	5.3%	0.0%	1.6
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	36.8%	63.2%	0.0%	0.0%	1.7
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	26.3%	73.7%	0.0%	0.0%	1.5
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%	1.9
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	2.1
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	10.5%	84.2%	5.3%	0.0%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	26.3%	57.9%	14.3%	0.0%	1.2
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%	1.8



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○日々、生徒の個に応じたきめ細やかな指導・支援に努めている姿が高い評価となっている。IB教育の理念の浸透とともに、それを達成するための計画的・継続的な指導が行われている成果といえる。(A-11)

○特に、IBDPを履修している生徒は、粘り強く課題等に取り組み、日常的に執務室の相談スペース等で個別指導を受けて、希望進路の実現につなげている。

○生徒、保護者、教員で大きな乖離がないことから、秀光教員の強みであるといえる。そして、今後も研鑽を重ね、指導のノウハウを組織として継承・発展させるシステムをより強固に築く必要

【分析・考察】

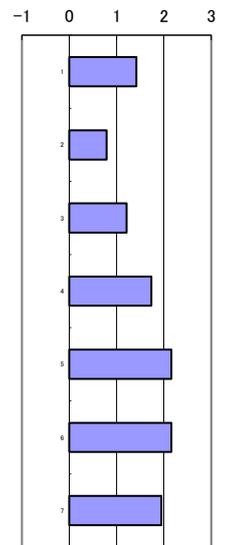
○高校2年生からのDPにおいて、多様性に富んだ環境の中で文化や価値観等の違いに触れながらIB教育プログラムに取り組み、より平和な世界を築くことに貢献する若者の育成に努めている。(B-18)

○中学3年生でのカナダGLAでは、海外IB校の学生との学びやコミュニケーション、アクティビティを通して、異文化体験や英語力のスキルアップの他、現地での奉仕活動を含む実践活動を行い、持続可能な社会を構築するグローバルシティズンに不可欠な知性・感性・国際性を身に付けた。

○CPMを有効に活用し、グローバル人材の育成や国際理解教育の推進について共通理解を深めたり、引き続き組織的体制の構築に

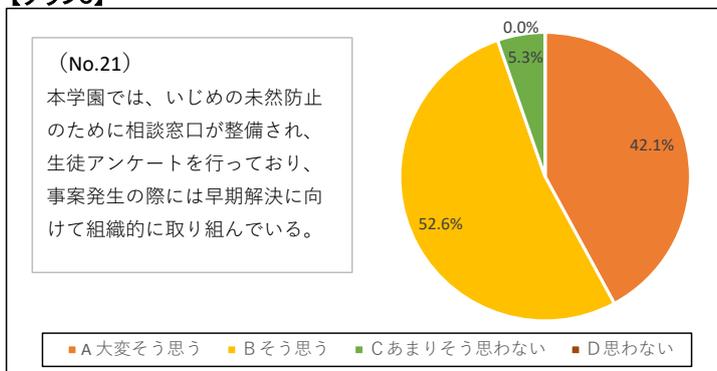
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評 価 値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%	1.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	10.5%	73.7%	10.5%	5.3%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	31.6%	47.4%	21.1%	0.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	36.8%	63.2%	0.0%	0.0%	1.7
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%	1.9



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

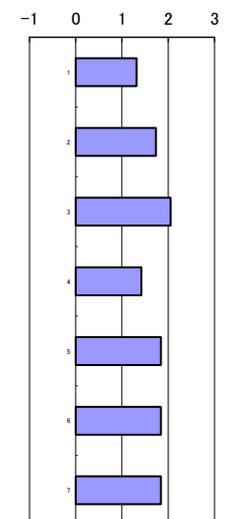
○いじめ問題については、定期的なアンケートの他、教師の見取りや、生徒や保護者からの相談等の場面で発見されることが多いことから、観察や気づきを大切に、打合せや学年会等を通して早期に情報共有できるようにしている。(C-21)

○各学年ともに、保護者や関係者と連携して迅速に組織的に対応するように努力している。また、授業担当者間での観察を頻繁に行い、複数の目で様々な角度から言動や人間関係等について情報共有し、早期解決、再発防止に努めている。

○中学校段階では、道徳の授業の時数確保に努めるとともに

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評 価 値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	26.3%	63.2%	10.5%	0.0%	1.3
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	42.1%	52.6%	5.3%	0.0%	1.7
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	2.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	21.1%	78.9%	0.0%	0.0%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%	1.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%	1.8
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%	1.8



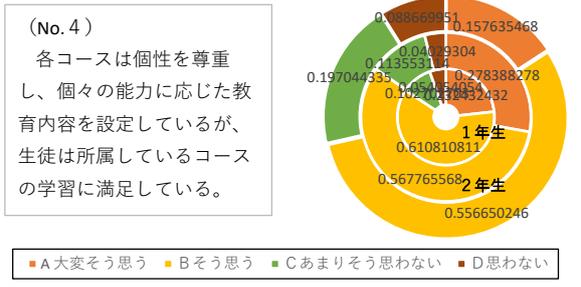
調査結果と考察

2 特別進学コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○、「I 授業について」に関するすべての項目において、昨年度の数値より改善が見られる。これは昨年度に続いての傾向なので、ある程度、コースの特性を生かしながらのオンライン授業の改善・工夫が定着しつつあるものと思われる。

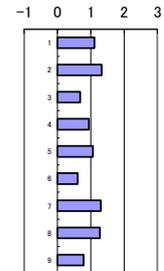
○「II 教育課程について」も、ほとんどの項目で昨年度の数値が改善されている。特にNo.4の項目について、数値が上昇している。この流れを絶やすことなく、生徒一人ひとりの能力や個性を大切にしながら、「より理解できる、より思考できる」授業の工夫を進めていきたい。(A-4)

○全体的に改善が進んでいる中で、No.11の項目について、2つの学年で昨年度を下回る結果となった。3学年ともに、A、Bの合計が85%を超えているものの、生徒の様子を見ながら丁寧な面談を進めていきたい。

【表A】

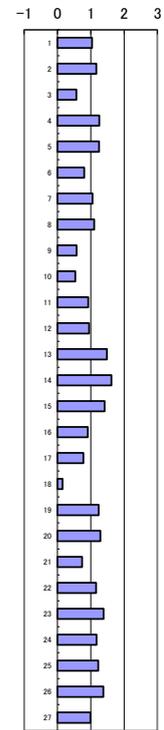
I 授業について

No.	設問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	23.4%	62.5%	10.3%	3.8%	1.1
		2年生	30.9%	56.4%	10.9%	1.8%	1.3
		3年生	18.6%	55.9%	16.7%	8.8%	0.7
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	18.4%	64.3%	13.5%	3.8%	0.9
		2年生	26.9%	53.1%	16.4%	3.6%	1.1
		3年生	17.2%	53.9%	21.1%	7.8%	0.6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	29.2%	59.5%	8.6%	2.7%	1.3
		2年生	30.4%	56.4%	9.9%	3.3%	1.3
		3年生	21.7%	54.7%	14.8%	8.9%	0.8



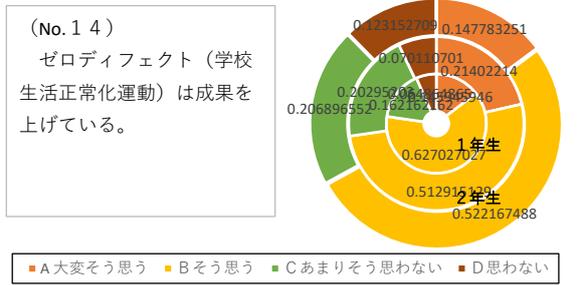
II 教育課程について

No.	設問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	23.2%	61.1%	10.3%	5.4%	1.0
		2年生	27.8%	56.8%	11.4%	4.0%	1.2
		3年生	15.8%	55.7%	19.7%	8.9%	0.6
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	25.9%	63.8%	7.6%	2.7%	1.3
		2年生	30.4%	54.9%	11.4%	3.3%	1.2
		3年生	17.7%	60.1%	16.7%	5.4%	0.8
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	21.6%	63.2%	11.4%	3.8%	1.1
		2年生	27.9%	53.3%	14.7%	4.0%	1.1
		3年生	15.8%	56.7%	18.2%	9.4%	0.6
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在校生」)を活用している。	1年生	16.8%	52.4%	21.6%	9.2%	0.5
		2年生	25.1%	52.4%	16.2%	6.3%	0.9
		3年生	23.2%	58.1%	11.8%	6.9%	1.0
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	36.2%	53.5%	8.6%	1.6%	1.5
		2年生	39.9%	52.8%	5.9%	1.5%	1.6
		3年生	35.0%	55.7%	4.4%	4.9%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	21.7%	59.8%	10.9%	7.6%	0.9
		2年生	26.2%	46.9%	16.6%	10.3%	0.8
		3年生	14.8%	45.8%	21.7%	17.7%	0.2
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	26.5%	62.2%	8.1%	3.2%	1.2
		2年生	26.6%	63.1%	8.5%	1.8%	1.3
		3年生	19.2%	58.1%	13.3%	9.4%	0.7
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	25.9%	60.0%	10.3%	3.8%	1.2
		2年生	31.4%	58.3%	8.5%	1.8%	1.4
		3年生	28.6%	56.7%	9.9%	4.9%	1.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	22.7%	67.0%	9.2%	1.1%	1.2
		2年生	29.9%	61.3%	6.6%	2.2%	1.4
		3年生	21.2%	63.5%	8.9%	6.4%	1.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



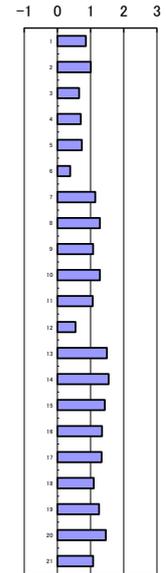
【分析・考察】

○A同様にすべての項目について、昨年度の数値より改善している。特にNo.14の項目について、改善が顕著である。なぜゼロディフェクトが必要なのかを、担任を中心に日常的に話してきたことで生徒自身もその必要性を理解してきたものと思われる。しかしCを選んだ一定数の生徒もいるので、生徒に訴える姿勢を継続していきたい。(B-14)

○No.17の項目は、すべての学年で90%を超える生徒が肯定的にとらえていた。大変痛ましい事故を二度と繰り返してはならないという本学園の強い意志が、生徒たちの心の中にしっかりと根づいていることがわかる。

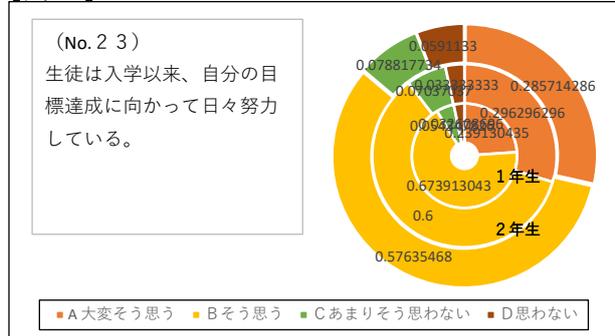
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	20.0%	56.8%	19.5%	3.8%	0.9
		2年生	24.0%	57.6%	13.3%	5.2%	1.0
		3年生	20.7%	52.2%	16.3%	10.8%	0.7
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	14.6%	62.7%	16.2%	6.5%	0.7
		2年生	21.4%	51.3%	20.3%	7.0%	0.7
		3年生	14.8%	52.2%	20.7%	12.3%	0.4
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	25.9%	58.4%	12.4%	3.2%	1.1
		2年生	29.2%	59.0%	8.5%	3.3%	1.3
		3年生	26.6%	57.1%	9.9%	6.4%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	30.8%	57.3%	7.0%	4.9%	1.3
		2年生	29.9%	49.8%	14.0%	6.3%	1.1
		3年生	18.7%	52.2%	16.7%	12.3%	0.5
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	35.1%	56.2%	7.0%	1.6%	1.5
		2年生	37.3%	55.0%	5.5%	2.2%	1.5
		3年生	36.9%	54.2%	2.5%	6.4%	1.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	31.4%	59.5%	4.3%	4.9%	1.3
		2年生	31.7%	57.2%	7.0%	4.1%	1.3
		3年生	26.2%	60.4%	5.4%	7.9%	1.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	25.4%	64.9%	7.0%	2.7%	1.3
		2年生	34.3%	56.5%	7.4%	1.8%	1.5
		3年生	24.6%	60.1%	9.9%	5.4%	1.1



C その他

【グラフC】



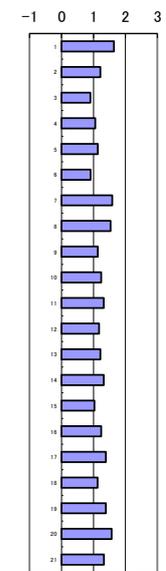
【分析・考察】

○本学園の施設あるいはきめ細やかな教育活動に対する生徒の満足度が高いことが分かる結果となった。そうした恵まれた環境の中で、目標実現にむけて生徒たちの日々の様子がうかがえるNo.23の項目の数値が高いことは、本コースにとっても喜ばしい。今年度より導入したBLENDなどの教育環境の充実をさらに進め、また昨年度5類に移行したものの感染者の多い新型コロナウイルス対策を進めていきたい。(C-23)

○生徒の安全・安心な学校づくりには、“迅速かつ丁寧な”対応が必要となる。とりわけ現在社会的な問題となっている「いじめ問題」については、こうした対応が不可欠である。No.21の項目をみると、各学年ともCと評価した生徒の割合が2桁となっているので、少しでもこの数値が下がるような工夫を行ってきたい。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	43.2%	46.5%	9.2%	1.1%	1.6
		2年生	32.1%	52.0%	10.3%	5.5%	1.2
		3年生	26.2%	52.0%	12.4%	9.4%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	21.7%	62.5%	12.5%	3.3%	1.1
		2年生	27.3%	56.8%	11.1%	4.8%	1.1
		3年生	20.2%	61.6%	11.8%	6.4%	0.9
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	37.5%	56.0%	4.9%	1.6%	1.6
		2年生	35.6%	58.5%	3.0%	3.0%	1.5
		3年生	32.0%	51.2%	8.4%	8.4%	1.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	23.9%	67.4%	5.4%	3.3%	1.2
		2年生	29.6%	60.0%	7.0%	3.3%	1.3
		3年生	28.6%	57.6%	7.9%	5.9%	1.2
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	23.9%	65.2%	8.7%	2.2%	1.2
		2年生	30.3%	59.0%	7.4%	3.3%	1.3
		3年生	23.6%	60.1%	10.3%	5.9%	1.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	26.2%	63.4%	6.6%	3.8%	1.2
		2年生	30.6%	60.5%	6.6%	2.2%	1.4
		3年生	27.6%	57.1%	9.4%	5.9%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	27.7%	64.7%	7.1%	0.5%	1.4
		2年生	36.9%	56.5%	4.8%	1.8%	1.6
		3年生	30.5%	60.1%	4.4%	4.9%	1.3



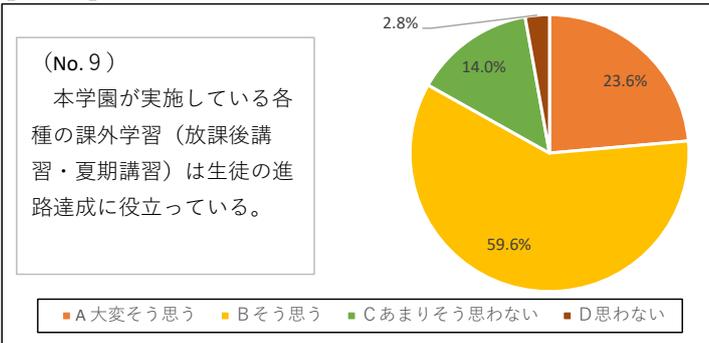
調査結果と考察

2 特別進学コース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

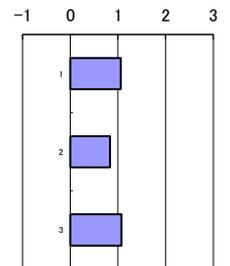
【分析・考察】

○No.10、No.11が昨年度と比較して横ばいだった以外は、すべての結果について好意的な評価の割合が増えている。中でも増加したすべての項目において、A(「大変そう思う」)が増加し、C(「あまりそう思わない」)が減少しているのは喜ばしい。No.9の改善が大きい。これは夏期講習や放課後講習などの課外講習に取り込む生徒の姿勢の変化が、保護者の目に留まったものと思われる。今後とも課外講習の改善に向けた努力を進めていきたい。(A-9)
○しかし一方で、No.11の項目は、生徒同様必ずしも高くないので、より丁寧な生徒対応を進めていくと同時に、情報を保護者に伝える工夫も行いたい。

【表A】

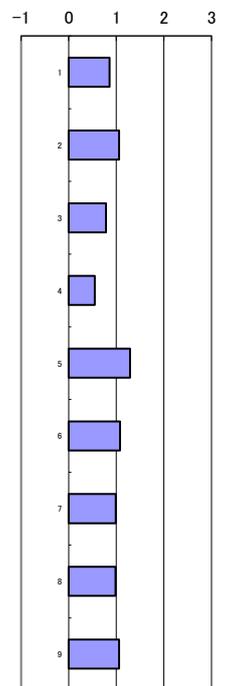
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行き、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	17.4%	68.9%	13.0%	0.7%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	13.0%	66.6%	19.5%	0.9%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	19.4%	66.1%	13.3%	1.2%	1.1



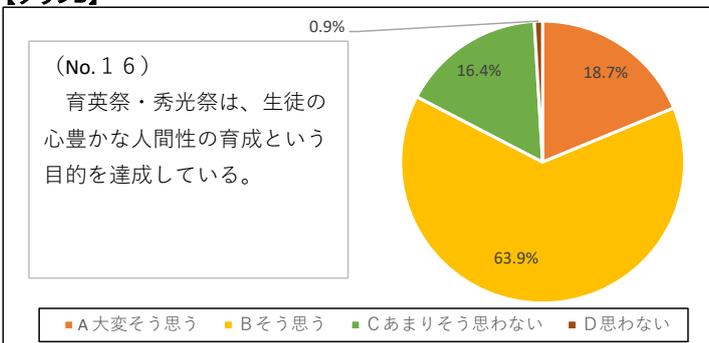
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	16.6%	62.4%	18.5%	2.6%	0.9
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	18.0%	68.0%	13.1%	0.9%	1.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	14.0%	63.3%	20.6%	2.1%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	12.7%	56.8%	25.8%	4.7%	0.5
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	25.8%	63.9%	9.4%	0.9%	1.3
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	23.6%	59.6%	14.0%	2.8%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	15.7%	69.2%	14.0%	1.2%	1.0
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	19.9%	61.8%	15.7%	2.6%	1.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	17.5%	69.4%	11.7%	1.4%	1.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

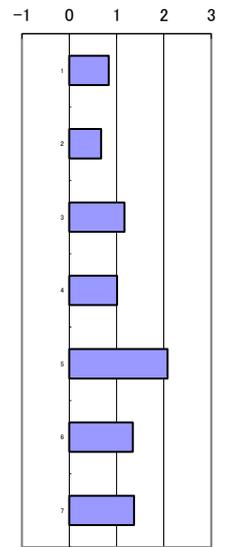


【分析・考察】

○昨年度と比較して、すべての項目で数値が上昇している。特にNo.16の「育英祭・秀光祭」について改善が顕著である。これは昨年度「新型コロナウイルス」が5類へ移行したことに伴い、「育英祭・秀光祭」を2年連続で計画通り実施できていることが反映されているものと思われる。行事当日、多くの保護者が来校していることから、行事のさらなる充実を図っていきたい(B-17)。
○生徒たちが充実した学園生活を行っていくためには保護者の協力が、とても重要である。しかし残念ながら「ゼロディフェクト」(No.14)の項目のCの数値が高いことから、生徒同様その必要性などについて教育懇談などの場を通じて説明していきたい。

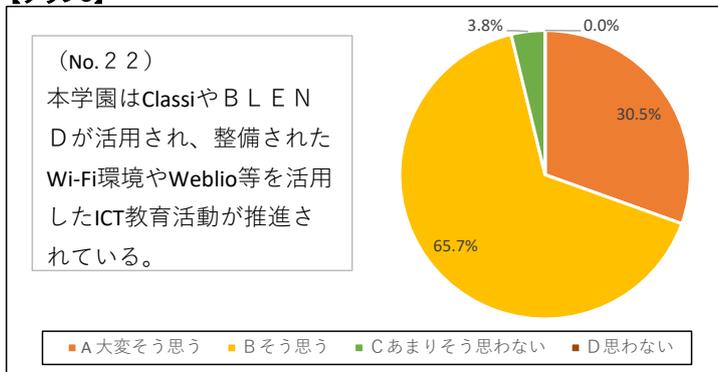
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	13.3%	66.8%	18.2%	1.6%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	7.3%	70.0%	21.8%	0.9%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	18.6%	71.3%	9.9%	0.2%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	18.7%	63.9%	16.4%	0.9%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	55.8%	42.5%	1.4%	0.2%	2.1
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	26.5%	64.6%	8.4%	0.5%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	26.4%	65.9%	7.5%	0.2%	1.4



C その他

【グラフC】



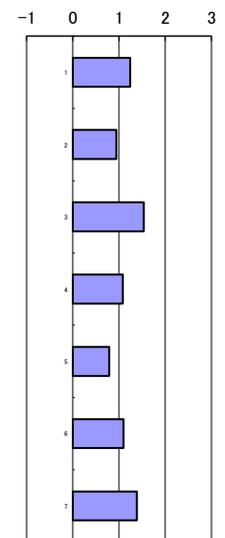
【分析・考察】

○すべての項目について、微増もしくは横ばいとなっており、昨年同様評価の結果に大きな変化は見られない。しかし詳細に検討すると、No.22の項目でAの評価をした保護者の割合が10ポイントダウンしている。BLENDを導入するなどの改善を毎年行っているにもかかわらず、ダウンしたことは残念でならない。この項目についての生徒の評価が高いことを考えると、保護者への情報発信が少し足りないことが考えられるので、さまざまな機会をとらえて保護者への情報発信を行っていくことが重要と思われる。(C-22)

○「新型コロナウイルス」対策については、高い評価を得ているので、今後とも迅速な対応に努めていきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	27.8%	57.7%	13.3%	1.2%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	11.7%	74.6%	12.7%	0.9%	0.9
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	30.5%	65.7%	3.8%	0.0%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	25.4%	56.2%	15.5%	2.8%	1.1
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	14.6%	64.1%	17.6%	3.8%	0.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	17.4%	72.2%	8.2%	2.1%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	25.8%	68.1%	5.6%	0.5%	1.4



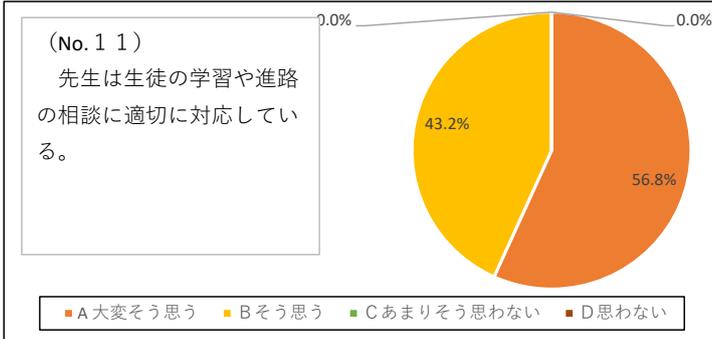
調査結果と考察

2 特別進学コース

(3) 教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

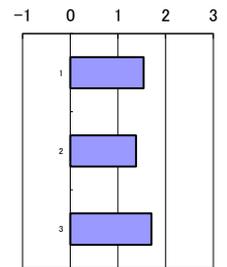
【分析・考察】

○全体としてはすべての項目に関して、評価が比較的高い。しかも内容をよくみると、肯定的な意見の中でBの数値が下がりAの数値が上昇している項目が多い。自己の教育活動について高い評価をする職員が増えているのは喜ばしいが、生徒の評価が低かったNo.11の項目で98%の職員が肯定的な評価をするなど、生徒との乖離がみられる項目もある。(A-11)
 ○今後、生徒及び保護者の評価内容を各学年で検討し、課外講習や進路指導に加えて生徒との面談強化について改善していく必要がある。

【表A】

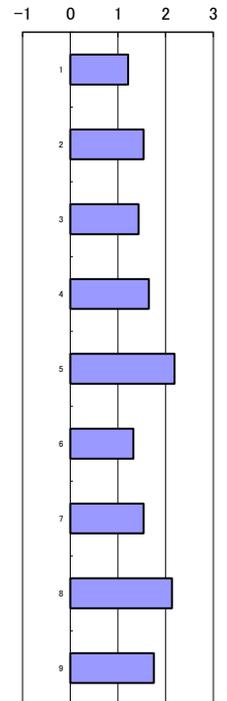
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	29.7%	67.6%	2.7%	0.0%	1.5
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	27.0%	64.9%	8.1%	0.0%	1.4
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	40.5%	54.1%	5.4%	0.0%	1.7



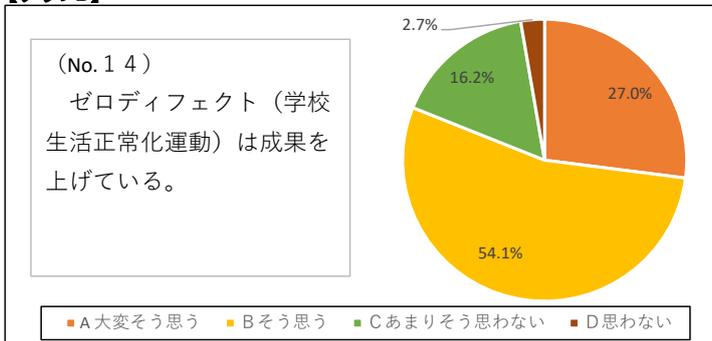
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	24.3%	62.2%	13.5%	0.0%	1.2
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	29.7%	67.6%	2.7%	0.0%	1.5
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	27.0%	67.6%	5.4%	0.0%	1.4
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	45.9%	43.2%	8.1%	2.7%	1.6
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	64.9%	29.7%	5.4%	0.0%	2.2
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	29.7%	59.5%	8.1%	2.7%	1.3
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	37.8%	51.4%	10.8%	0.0%	1.5
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	56.8%	43.2%	0.0%	0.0%	2.1
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	37.8%	62.2%	0.0%	0.0%	1.8



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

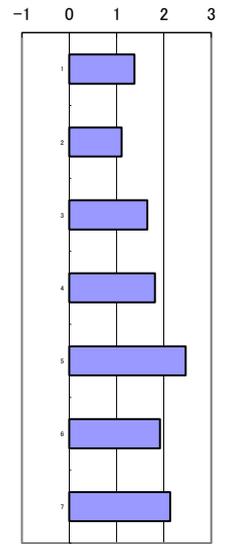


【分析・考察】

○昨年度に続き、No.14のゼロディフェクト(学校生活正常化運動)に関する項目の評価が、全項目の中で最も低いものとなっている。この項目に対する生徒及び保護者の数値が改善してきているにもかかわらず低い評価をしていることは、自らの教育活動を厳しくとらえているとも考えられ喜ばしい。改善状況をしっかりと見すえながら、生徒の意識涵養を図っていきたい。(B-14)
 ○またNo.17と並んでNo.19の評価が高いことから、本校における新型コロナウイルス対策が職員間にも定着してきていることが分かるが、更なる徹底を図りたい。

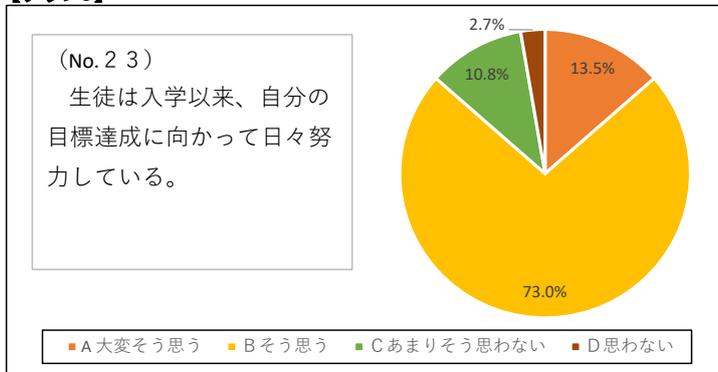
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	32.4%	56.8%	8.1%	2.7%	1.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	27.0%	54.1%	16.2%	2.7%	1.1
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	37.8%	56.8%	5.4%	0.0%	1.6
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	45.9%	48.6%	5.4%	0.0%	1.8
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	73.0%	27.0%	0.0%	0.0%	2.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	51.4%	45.9%	0.0%	2.7%	1.9
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	59.5%	37.8%	2.7%	0.0%	2.1



C その他

【グラフC】

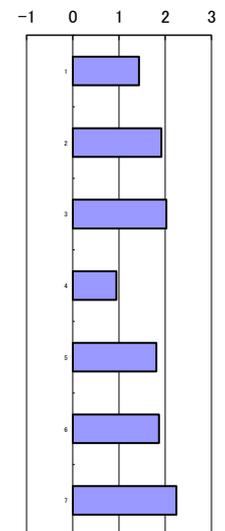


【分析・考察】

○No.23の項目について、他の項目と比較して厳しい評価をしている。特にA「大変そう思う」の割合が、唯一10%代となっており、生徒の学園生活の様子に満足していないことがうかがえる。学園生活に意欲的に取り組むためには、もちろん生徒の意識が大切ではあるが、そうした意識を涵養するために職員がどう指導したのかも問われる。時宜を得たアドバイスを生徒にできるために、日常から生徒の様子を的確にとらえることはもちろんのこと、職員集団が組織として生徒の変化を把握できる態勢づくりが必要となる。そうした組織集団づくりを時間をかけながら着実に進めていきたい。(C-23)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	35.1%	54.1%	8.1%	2.7%	1.4
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	48.6%	48.6%	2.7%	0.0%	1.9
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	56.8%	37.8%	5.4%	0.0%	2.0
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	13.5%	73.0%	10.8%	2.7%	0.9
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	45.9%	51.4%	0.0%	2.7%	1.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	43.2%	56.8%	0.0%	0.0%	1.9
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	62.2%	37.8%	0.0%	0.0%	2.2



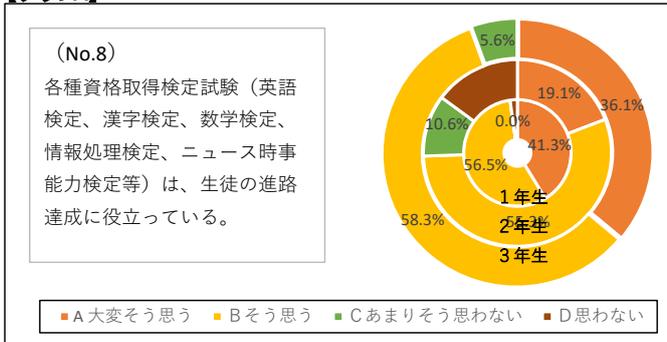
調査結果と考察

3 外国語コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

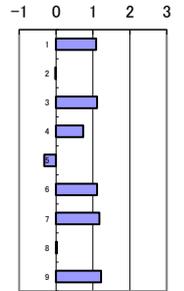
【分析・考察】

○(A-8)進路達成と語学検定資格取得の相関関係は生徒も十分理解浸透しているといえる。1年次より国内外の大学進学における語学検定資格・スコア等の取得状況の重要性が高まっていることをより徹底させていくことが必要である。
○コースの特色である国際交流、海外研修や留学などイベントを通して、学習意欲、能力を高められる学習機会、課外講習の実施を図り、モチベーションや学力・進路実績の向上につなげたい。
○多言語教育、国際理解教育の特色ある教育内容・機会の充実と、生徒一人一人の資質・学力の向上、満足度の一致を図っていききたい。

【表A】

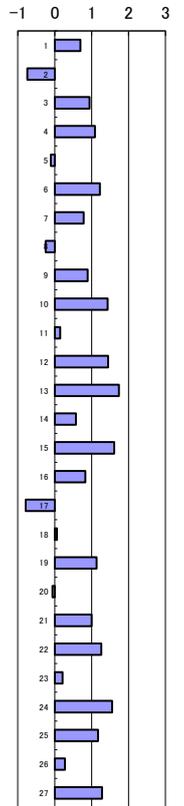
I 授業について

No.	設問	1年生	2年生	3年生	A	B	C	D	評価値	
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	26.1%	10.6%	16.7%	56.5%	48.9%	72.2%	13.0%	21.3%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	19.6%	12.8%	19.4%	54.3%	29.8%	69.4%	19.6%	36.2%	0.7
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	32.6%	12.8%	22.2%	50.0%	46.8%	66.7%	10.9%	21.3%	1.2



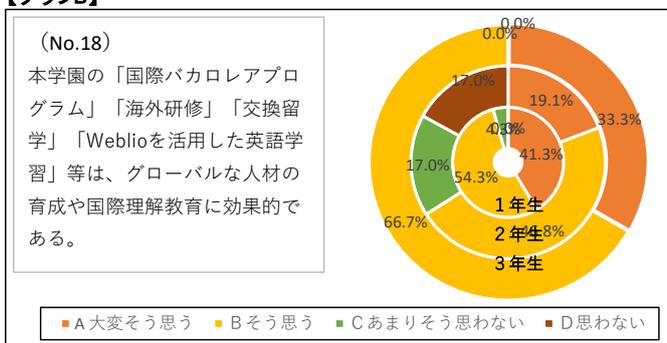
II 教育課程について

No.	設問	1年生	2年生	3年生	A	B	C	D	評価値	
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	21.7%	10.6%	13.9%	54.3%	25.5%	69.4%	10.9%	34.0%	0.7
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	23.9%	10.6%	22.2%	60.9%	44.7%	66.7%	10.9%	21.3%	1.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	19.6%	14.6%	16.7%	60.9%	35.4%	66.7%	8.7%	27.1%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	34.8%	21.3%	30.6%	54.3%	34.0%	61.1%	8.7%	25.5%	1.4
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	41.3%	19.1%	36.1%	56.5%	55.3%	58.3%	0.0%	14.9%	1.7
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	21.7%	8.5%	16.7%	56.5%	27.7%	36.1%	13.0%	34.0%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	21.7%	17.0%	19.4%	67.4%	36.2%	61.1%	6.5%	23.4%	1.1
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	28.3%	12.5%	33.3%	58.7%	52.1%	61.1%	10.9%	16.7%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	23.9%	14.9%	19.4%	67.4%	51.1%	75.0%	2.2%	17.0%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

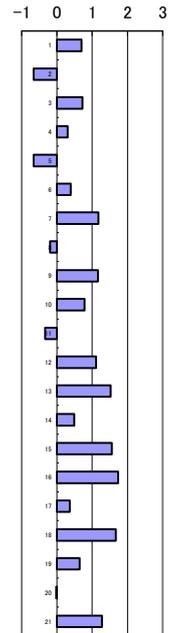


【分析・考察】

○(B-18)グローバル人材育成、国際理解教育についての「海外研修」「交換留学」などの各種取り組みは、コースの特色と方向性が一致している。コースならではの教育活動、学習機会の充実と、生徒の主体的参加の増加を目指したい。
○「ゼロディフェクト」への取組みや、日々の学校生活の諸活動が、個々の資質向上や社会性の育成につながることをなお丁寧に指導、課題解決に向け生徒が主体的に取り組めるような活動を目指したい。
○海外大学進学も含めた生徒の進路志望に資する海外交流や研修、各種イベントの企画にも取り組みたい。

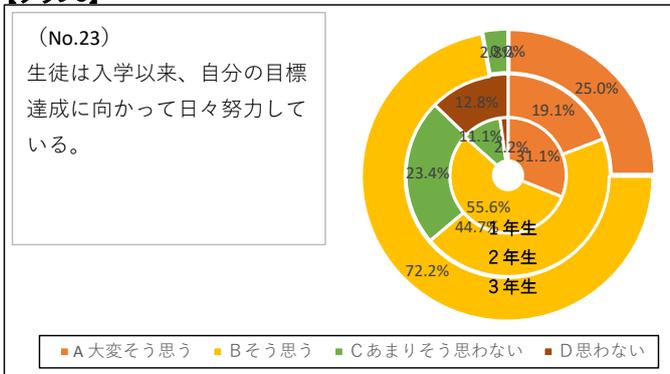
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	19.6%	54.3%	17.4%	8.7%	0.7
		2年生	8.5%	31.9%	27.7%	31.9%	-0.7
		3年生	8.3%	72.2%	16.7%	2.8%	0.7
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	13.0%	54.3%	17.4%	15.2%	0.3
		2年生	8.5%	34.0%	23.4%	34.0%	-0.7
		3年生	11.1%	55.6%	25.0%	8.3%	0.4
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	23.9%	63.0%	10.9%	2.2%	1.2
		2年生	12.8%	42.6%	17.0%	27.7%	-0.2
		3年生	19.4%	69.4%	11.1%	0.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	26.1%	47.8%	15.2%	10.9%	0.8
		2年生	12.5%	33.3%	29.2%	25.0%	-0.3
		3年生	27.8%	55.6%	11.1%	5.6%	1.1
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	32.6%	60.9%	6.5%	0.0%	1.5
		2年生	23.4%	44.7%	14.9%	17.0%	0.5
		3年生	27.8%	72.2%	0.0%	0.0%	1.6
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	41.3%	54.3%	4.3%	0.0%	1.7
		2年生	19.1%	46.8%	17.0%	17.0%	0.4
		3年生	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	22.2%	48.9%	17.8%	11.1%	0.6
		2年生	14.9%	44.7%	14.9%	25.5%	0.0
		3年生	16.7%	80.6%	2.8%	0.0%	1.3



C その他

【グラフC】

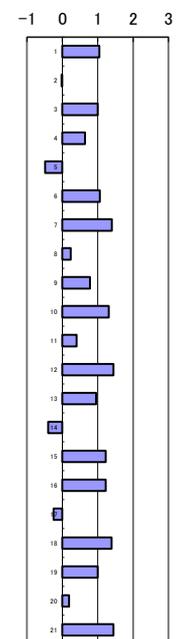


【分析・考察】

○(C-23)目標達成に向け日々努力していると生徒、保護者、教員の評価は同様に肯定的評価である。各生徒が進路達成に向けて、日々の学校生活に意識的に取り組んでいる結果といえる。
○学校の施設整備、ハード・ソフト両面について肯定的な評価である。緊急連絡システム、Classi、Slackや整備されたICT環境の活用も高評価である。
○整備されたICT環境も適切に活用するなど、生徒・教員のお良好なコミュニケーション関係構築を図りたい。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	31.1%	48.9%	11.1%	8.9%	1.0
		2年生	19.1%	34.0%	23.4%	23.4%	0.0
		3年生	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	20.0%	53.3%	15.6%	11.1%	0.6
		2年生	8.5%	36.2%	27.7%	27.7%	-0.5
		3年生	20.0%	65.7%	11.4%	2.9%	1.1
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	35.6%	53.3%	6.7%	4.4%	1.4
		2年生	21.3%	38.3%	21.3%	19.1%	0.2
		3年生	11.1%	69.4%	16.7%	2.8%	0.8
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	31.1%	55.6%	11.1%	2.2%	1.3
		2年生	19.1%	44.7%	23.4%	12.8%	0.4
		3年生	25.0%	72.2%	2.8%	0.0%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	18.2%	68.2%	6.8%	6.8%	1.0
		2年生	8.5%	40.4%	23.4%	27.7%	-0.4
		3年生	25.0%	63.9%	8.3%	2.8%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	29.5%	54.5%	13.6%	2.3%	1.2
		2年生	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	-0.3
		3年生	25.0%	69.4%	5.6%	0.0%	1.4
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	24.4%	60.0%	6.7%	8.9%	1.0
		2年生	17.0%	42.6%	23.4%	17.0%	0.2
		3年生	27.8%	66.7%	5.6%	0.0%	1.4



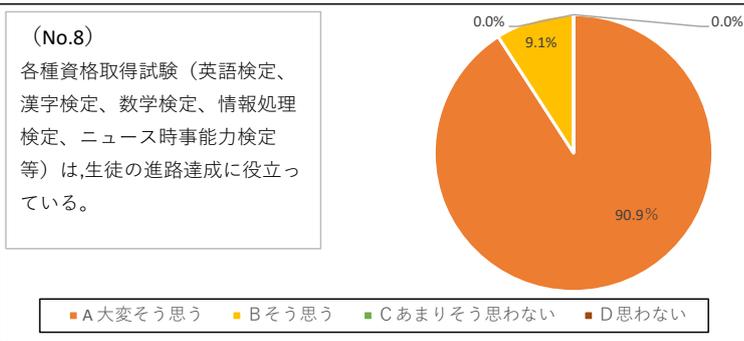
調査結果と考察

3 外国語コース

(3) 教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

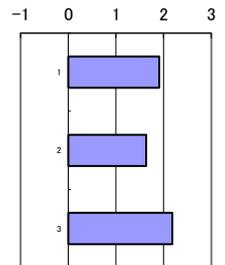
【分析・考察】

○(A-8) コースの特色である語学検定取得の取組みが、コースの目標、進路達成に直結していることが、教員間で共通認識として共有されている。
○特に長期休業中の課外講習について、レギュラークラス・留学生生に対応した効果的な内容をさらに検討して、生徒が効果と達成感を得られるようなプログラムを実施していきたい。(A-9)
○コースの特色である外国語言語教育と国際理解教育の充実化をさらに図り、各学年・各生徒の全体・個別の実態把握に努め、コース各生徒の資質向上と進路達成に努めていきたい。

【表A】

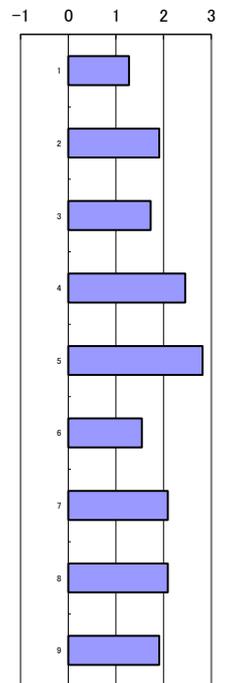
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行き、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	31.8%	68.2%	0.0%	0.0%	1.6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%	2.2



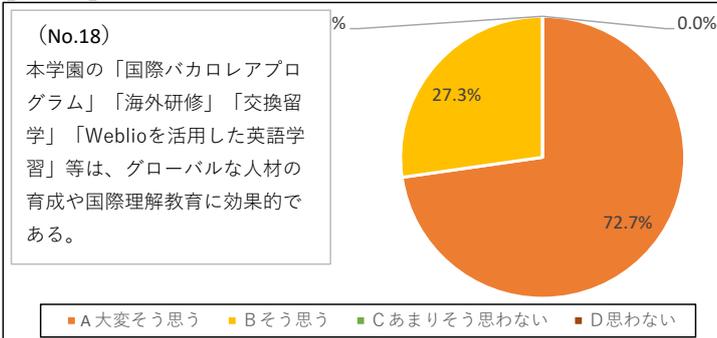
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	22.7%	68.2%	9.1%	0.0%	1.3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	50.0%	45.5%	4.5%	0.0%	1.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	1.7
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	2.5
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	2.8
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	40.9%	50.0%	4.5%	4.5%	1.5
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	2.1
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	2.1
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

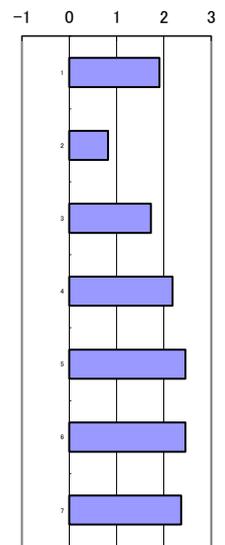


【分析・考察】

○(B-18)コースの特色である教育活動、海外研修、交換留学等はグローバル人材の育成・国際理解教育に効果的だと評価された。海外研修、短期・長期留学、姉妹校からの訪問、講演会などを通し、生徒の教育的効果を高める実施内容を計画していきたい。
○項目14「ゼロディフェクト」の取り組みや日々の学校生活・行事を通して、生徒自身が建学の精神・社会課題へ主体的に取り組む姿勢も育成できるよう、目的・意義を共有することが必要である。(B-14)
○学校生活・行事の様々な機会を通じた個々の資質と社会性の向上、社会に貢献できる人材の育成という目的を共有し、生徒の指導につなげたい。

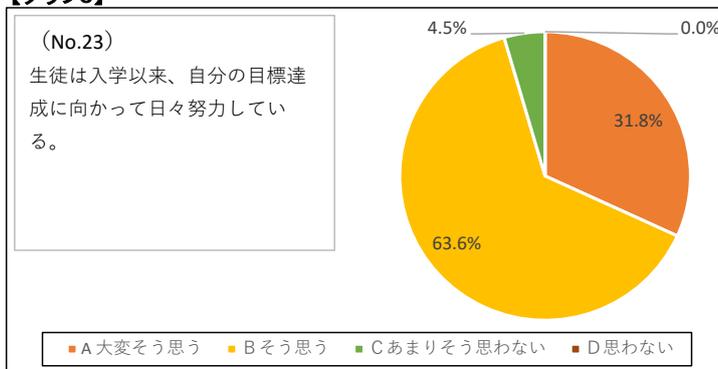
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	18.2%	54.5%	27.3%	0.0%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	45.5%	45.5%	9.1%	0.0%	1.7
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	63.6%	31.8%	4.5%	0.0%	2.2
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	77.3%	18.2%	4.5%	0.0%	2.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	2.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	2.4



C その他

【グラフC】

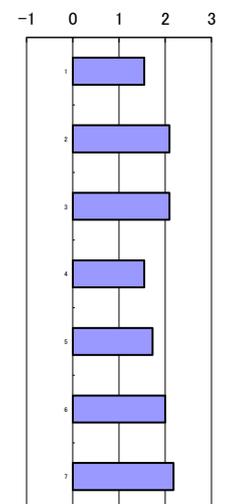


【分析・考察】

○(C-23)生徒は学校生活において、進路達成に向けて努力していると、生徒・保護者同様に、教員も評価している。生徒の学校生活の充実、成長につながる諸環境整備と充実に努めたい。(C-23)
 ○(項目24)生徒の実態把握・情報共有については、今後も適切なICTの活用も通して、指導の実践に繋げたい。
 ○(項目26)これまでの経験から、感染症対策意識は高いため、今後も様々な場面で適切な対応を継続していきたい。
 ○学校全体のハード・ソフト両面の利点を、生徒の資質・能力の育成に活用していきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	40.9%	45.5%	13.6%	0.0%	1.5
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	2.1
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	59.1%	36.4%	4.5%	0.0%	2.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	31.8%	63.6%	4.5%	0.0%	1.5
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	1.7
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	63.6%	31.8%	4.5%	0.0%	2.2



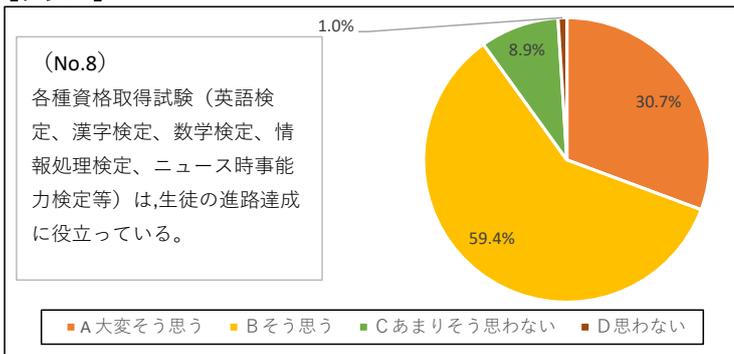
調査結果と考察

3 外国語コース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

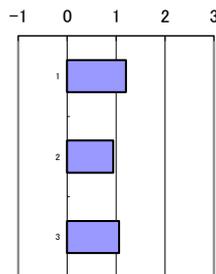
【グラフA】



【表A】

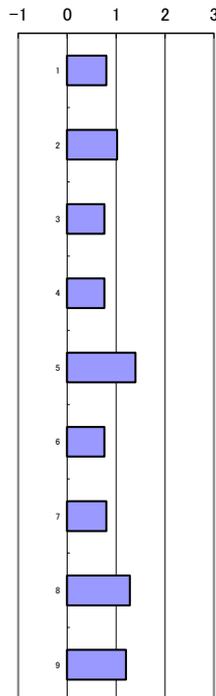
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	21.0%	71.0%	5.0%	3.0%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	15.2%	68.7%	14.1%	2.0%	0.9
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	23.0%	59.0%	16.0%	2.0%	1.1



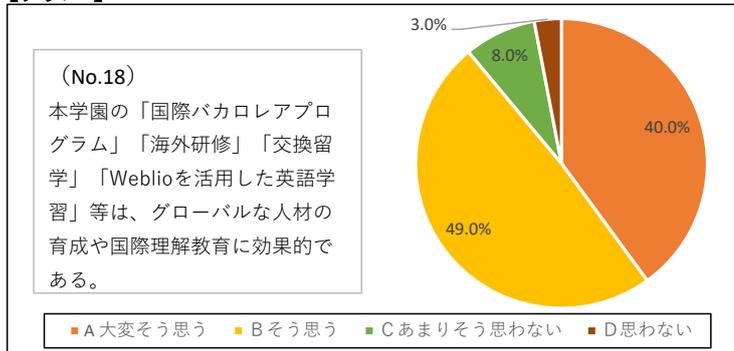
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	17.8%	60.4%	15.8%	5.9%	0.8
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	15.0%	71.0%	14.0%	0.0%	1.0
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	10.9%	69.3%	16.8%	3.0%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	16.0%	61.0%	18.0%	5.0%	0.8
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	30.7%	59.4%	8.9%	1.0%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	15.0%	61.0%	21.0%	3.0%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	15.0%	63.0%	19.0%	3.0%	0.8
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	29.3%	58.6%	9.1%	3.0%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	24.0%	65.0%	8.0%	3.0%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
 評価平均値 = (A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【分析・考察】

○(A-8)特に外国語検定資格取得の取り組みと成果は、進路達成に非常に役立つと理解・評価されている。今後も生徒・保護者・教員間で共通認識を図り、一層の充実化を目指したい。
 ○海外研修、留学などがコロナ以前と同様に実施されるようになった。今後も外国語言語教育と国際理解教育、各種スピーチコンテストや交流イベント等、本コースならではの特色ある教育活動の充実、適切な情報提供を通じて、グローバルなキャリア意識と意欲を高められるようなコースの特色を活かしたプランの検討・実施をはかりたい。

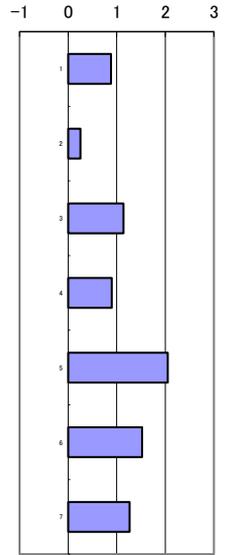
【分析・考察】

○(B-18)コースの特色である海外研修、交換留学等がグローバル人材の育成・国際理解教育に効果的だと評価された。「飲酒運転根絶運動」(B-17)や「シジュウカラガン復活プロジェクト」など、社会的意義のある活動・取組みが評価されている。
 ○「ゼロディフェクト」の取り組み、日々の学校生活・行事を通して、建学の精神の実践や、社会課題へ主体的に取り組む姿勢を育成することができるように、生徒・保護者・教員の3者間で目的・意義の共有を図りたい。
 ○新型コロナウイルス感染拡大期以降でも、各種感染症対策、環境整備への取り組みの継続を共有していきたい。

【表B】

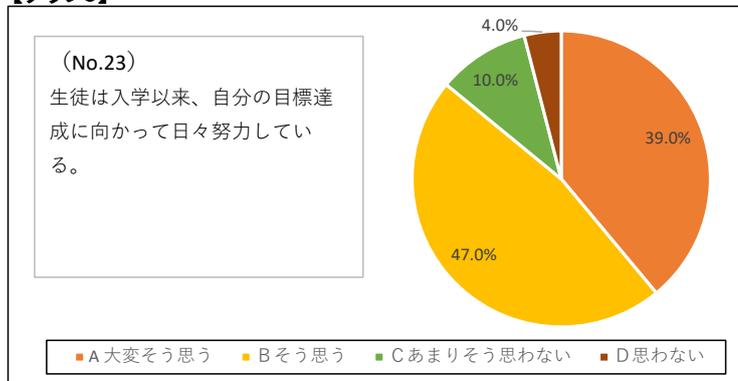
と

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	15.0%	67.0%	15.0%	3.0%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	7.1%	54.5%	32.3%	6.1%	0.3
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	21.0%	68.0%	8.0%	3.0%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	24.2%	52.5%	17.2%	6.1%	0.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	57.6%	37.4%	5.1%	0.0%	2.1
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	40.0%	49.0%	8.0%	3.0%	1.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	27.3%	59.6%	12.1%	1.0%	1.3



C その他

【グラフC】

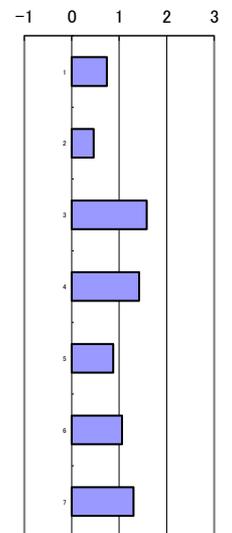


【分析・考察】

○(C-23)生徒は学校生活において進路達成に向け日々努力していると、肯定的に評価されている。生徒・教員の評価も一致している。学校の施設設備では特にICT環境とその活用が評価された。
○各生徒の希望進路達成に向け、今後も生徒の実態把握と、生徒・保護者・教員3者間の良好なコミュニケーションと信頼関係の構築になお努めたい。
○学校全体のハード・ソフト両面の利点に加え、様々な国籍の生徒・保護者、教員・スタッフが所属する外国語コース・国際部の教育環境を活かし、多様化するグローバル社会に求められる資質・能力の育成をさらに図っていきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	21.0%	51.0%	22.0%	6.0%	0.7
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	10.0%	61.0%	21.0%	8.0%	0.5
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	36.0%	59.0%	3.0%	2.0%	1.6
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	39.0%	47.0%	10.0%	4.0%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	18.6%	62.9%	12.4%	6.2%	0.9
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	23.0%	58.0%	18.0%	1.0%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	29.3%	57.6%	12.1%	1.0%	1.3



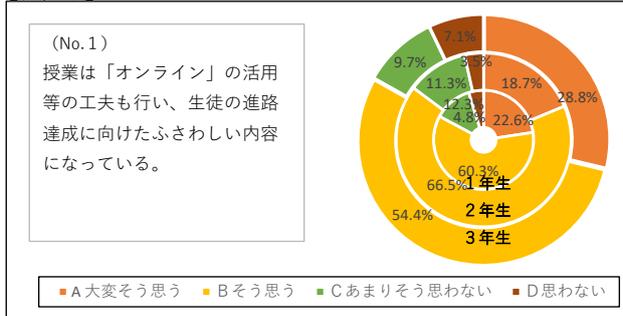
調査結果と考察

4 英進進学コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関する事

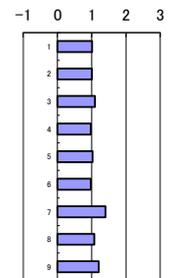
【グラフA】



【表A】

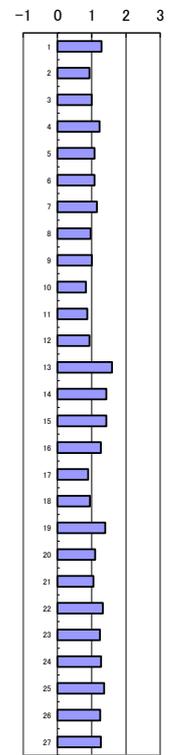
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	22.6%	60.3%	12.3%	4.8%	1.0
		2年生	18.7%	66.5%	11.3%	3.5%	1.0
		3年生	28.8%	54.4%	9.7%	7.1%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	20.9%	60.6%	14.7%	3.8%	1.0
		2年生	20.3%	63.8%	12.5%	3.3%	1.0
		3年生	23.5%	56.2%	15.9%	4.4%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	31.5%	58.9%	7.9%	1.7%	1.4
		2年生	22.5%	62.7%	10.7%	4.1%	1.1
		3年生	29.2%	56.2%	10.2%	4.4%	1.2



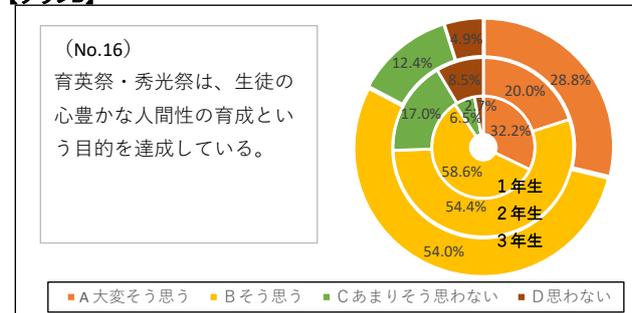
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	26.7%	63.0%	8.2%	2.1%	1.3
		2年生	19.6%	62.4%	13.3%	4.8%	0.9
		3年生	24.8%	56.2%	13.3%	5.8%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	26.8%	60.5%	10.0%	2.7%	1.2
		2年生	19.6%	67.8%	9.6%	3.0%	1.1
		3年生	27.4%	54.9%	11.9%	5.8%	1.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	24.0%	62.7%	10.3%	3.1%	1.2
		2年生	18.8%	64.2%	13.7%	3.3%	1.0
		3年生	24.8%	57.5%	11.1%	6.6%	1.0
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	19.2%	59.2%	15.8%	5.8%	0.8
		2年生	19.2%	60.1%	15.9%	4.8%	0.9
		3年生	25.7%	53.5%	12.8%	8.0%	0.9
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	39.7%	52.4%	5.8%	2.1%	1.6
		2年生	31.7%	60.1%	5.9%	2.2%	1.4
		3年生	33.2%	58.4%	4.9%	3.5%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	28.9%	58.4%	10.0%	2.7%	1.3
		2年生	20.0%	59.3%	16.3%	4.4%	0.9
		3年生	26.1%	51.8%	15.5%	6.6%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	28.8%	63.7%	6.2%	1.4%	1.4
		2年生	23.2%	63.1%	9.2%	4.4%	1.1
		3年生	26.5%	55.8%	11.5%	6.2%	1.1
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	31.5%	55.5%	10.6%	2.4%	1.3
		2年生	25.1%	65.3%	6.3%	3.3%	1.2
		3年生	33.2%	53.1%	8.0%	5.8%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	28.4%	62.7%	7.5%	1.4%	1.4
		2年生	24.4%	66.4%	6.6%	2.6%	1.3
		3年生	29.6%	58.4%	7.5%	4.4%	1.3



B 心豊かな人間性の育成に関する事

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

・「I 授業について」ではいずれの項目も概ね「肯定的評価」である。しかしながら、項目I「授業は「オンライン」の活用等の工夫を行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。」は83.8%であり、昨年度に比して若干の減少となっている。特に2年生の「A」が低下幅が大きい。これについては、「Zoom」の設定の変更により、先生方が年度当初少し手間取ることがあったことに由来するのではないかと考えられる。

・「II 教育課程について」では項目8の「各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。」が昨年に引き続き各学年ともに高評価である。各種の資格が進路決定に役立つことが1年生にも浸透していることが伺え、非常に良い評価だと考える。

・いずれの項目も昨年ほどではないが高評価をいただいているので、今後さらに工夫を重ねて取り組んでいきたい。

【分析・考察】

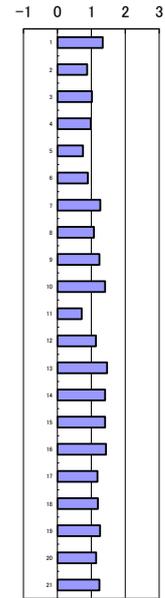
・項目16の「育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。」が今年度もある程度の評価を得ているが、先の分析と同様に2年生の低下幅が大きいように見受けられる。1年生のときは高等学校の学園祭の雰囲気で大変高印象をもってしたが、2年目のほぼ同様の内容ということで、1年目ほどの刺激がなかったことがこのような結果になっているものと思われる。

・高評価は例年通り項目17「本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。」で90.3%の肯定的評価をいただいている。本学園が長期にわたって持続的に取り組み続けていることで、生徒にもこの精神が根付いていることが見受けられる。

・項目13の「学園の理念」に関する項目では、2年生の「A」の割合がやや低いようである。学園生活の充実のためにも、「教育理念のわかりやすい説明」に引き続き取り組んでいきたい。

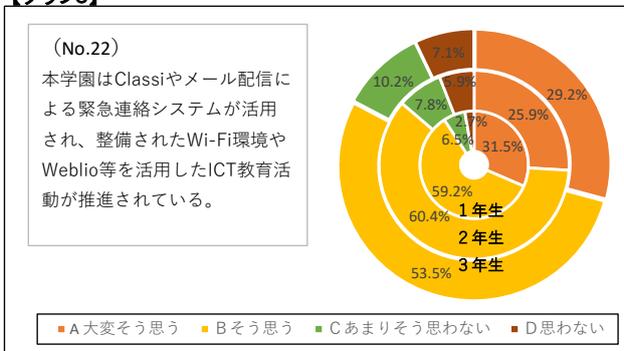
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値	
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	31.5%	56.2%	9.9%	2.4%	1.3
		2年生	19.9%	58.3%	17.3%	4.4%	0.9
		3年生	27.9%	52.2%	12.8%	7.1%	1.0
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	21.2%	61.0%	13.4%	4.5%	1.0
		2年生	19.2%	55.0%	20.3%	5.5%	0.8
		3年生	22.6%	56.2%	14.6%	6.6%	0.9
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	26.5%	62.2%	9.3%	2.1%	1.3
		2年生	22.1%	63.1%	11.1%	3.7%	1.1
		3年生	29.2%	57.5%	9.3%	4.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	32.2%	58.6%	6.5%	2.7%	1.4
		2年生	20.0%	54.4%	17.0%	8.5%	0.7
		3年生	28.8%	54.0%	12.4%	4.9%	1.1
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	34.6%	56.5%	6.5%	2.4%	1.5
		2年生	31.9%	59.3%	6.3%	2.6%	1.4
		3年生	35.0%	53.5%	8.4%	3.1%	1.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	31.3%	61.2%	5.5%	2.1%	1.4
		2年生	24.4%	63.8%	8.1%	3.7%	1.2
		3年生	27.4%	58.8%	9.7%	4.0%	1.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	28.4%	58.6%	10.6%	2.4%	1.3
		2年生	23.7%	63.0%	10.0%	3.3%	1.1
		3年生	28.8%	58.0%	9.7%	3.5%	1.2



C その他

【グラフC】

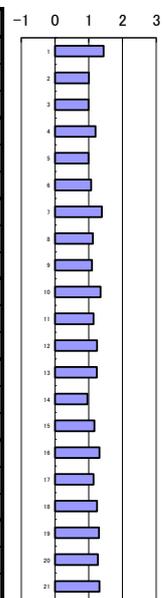


【分析・考察】

・昨年度よりはやや低いが、項目22の「本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。」が86.8%の評価を得ている。特に1年生では中学校までにはみられなかったこのようなシステムの運用が印象に残っているからだと思われる。
 ・項目25「先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。」も87.1%と高い評価を得ている。先生方の日頃からの生徒への対応が肯定的評価につながっていると思われる。
 ・すべての項目を見ると、2年生の評価がやや低いように見られる。よく言われることだが、高校生活にも慣れ、やや中だるみになっているのではないかと感じられる。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値	
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	35.6%	53.4%	8.2%	2.7%	1.4
		2年生	24.1%	57.4%	13.3%	5.2%	1.0
		3年生	29.2%	48.2%	15.5%	7.1%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	26.1%	60.5%	10.7%	2.7%	1.2
		2年生	22.9%	59.4%	12.2%	5.5%	1.0
		3年生	23.5%	61.1%	11.1%	4.4%	1.1
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	31.5%	59.2%	6.5%	2.7%	1.4
		2年生	25.9%	60.4%	7.8%	5.9%	1.1
		3年生	29.2%	53.5%	10.2%	7.1%	1.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	29.2%	61.2%	7.6%	2.1%	1.4
		2年生	22.9%	63.8%	10.7%	2.6%	1.1
		3年生	28.3%	59.3%	8.8%	3.5%	1.2
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	27.1%	60.3%	10.3%	2.4%	1.2
		2年生	21.4%	60.5%	12.9%	5.2%	1.0
		3年生	27.7%	58.0%	9.4%	4.9%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	31.5%	55.8%	9.6%	3.1%	1.3
		2年生	25.5%	60.5%	9.6%	4.4%	1.1
		3年生	29.8%	58.2%	6.7%	5.3%	1.2
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	29.1%	58.2%	11.3%	1.4%	1.3
		2年生	28.4%	59.4%	9.6%	2.6%	1.3
		3年生	30.7%	58.2%	7.6%	3.6%	1.3



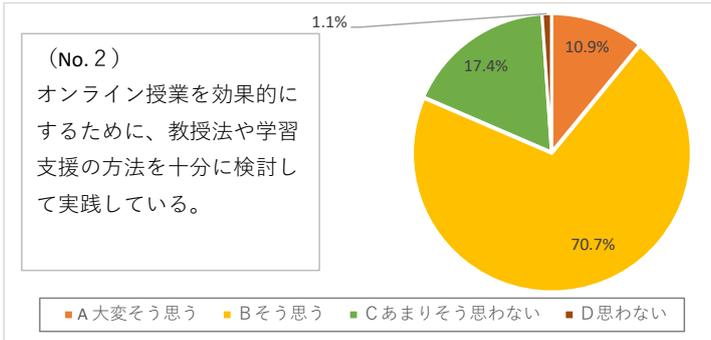
調査結果と考察

4 英進進学コース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

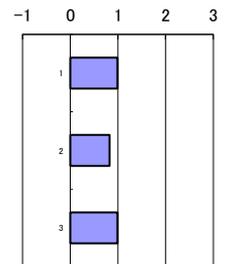
【分析・考察】

・いずれの項目も「A」、「B」評価が多くを占め、「肯定的評価」となっている。しかしながら、項目6「各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。」、項目7「生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。」はやや低い評価となっている。しかし、両項目とも生徒のアンケート結果では高評価であることから、保護者とのずれがみられる。今後、このずれを埋めるため、保護者面談等を活用して行くことが考えられる。

【表A】

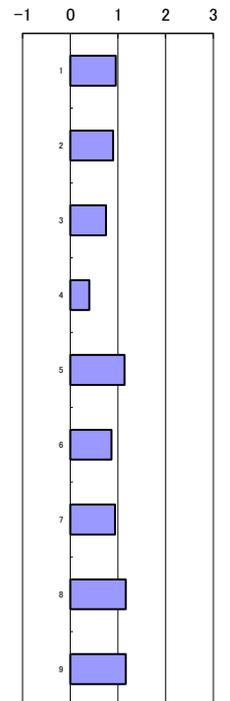
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行き、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	12.2%	76.1%	10.5%	1.1%	1.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	10.9%	70.7%	17.4%	1.1%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	15.2%	70.2%	13.5%	1.1%	1.0



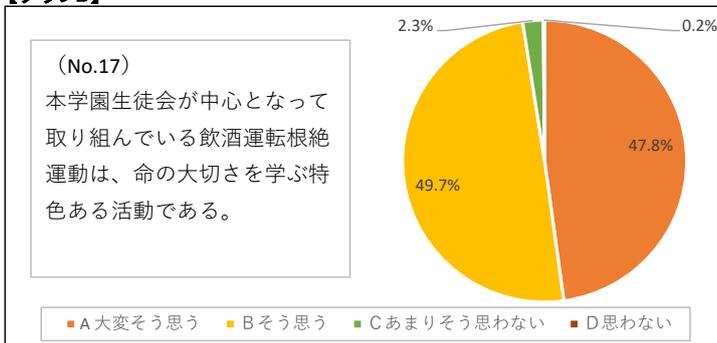
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	14.7%	69.6%	14.5%	1.2%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	12.7%	71.2%	14.6%	1.6%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	9.9%	69.7%	18.4%	2.0%	0.7
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	7.0%	59.8%	29.3%	3.9%	0.4
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	20.1%	67.9%	11.1%	0.9%	1.1
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	13.8%	67.5%	17.0%	1.7%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	13.1%	72.2%	13.3%	1.4%	0.9
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	23.4%	63.3%	11.5%	1.9%	1.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	17.5%	73.8%	8.2%	0.5%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

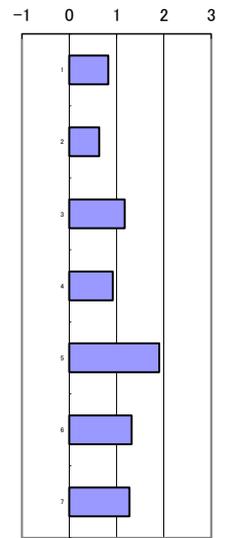


【分析・考察】

・項目17「本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。」は97.5%で、昨年度に比べてほぼ同様(-0.4ポイント)で、引き続き非常に高い評価を得ている。本学園が長期にわたって持続的に取り組み続けていることで、生徒のみならず保護者の方々にもこの精神が根付いていることが見受けられる。
・項目14「ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。」は「A」評価が5.9%で、他に比して著しく低い割合である。しかし、「B」評価は71.5%と高い値であり、概ね評価していただいているものと思われる。

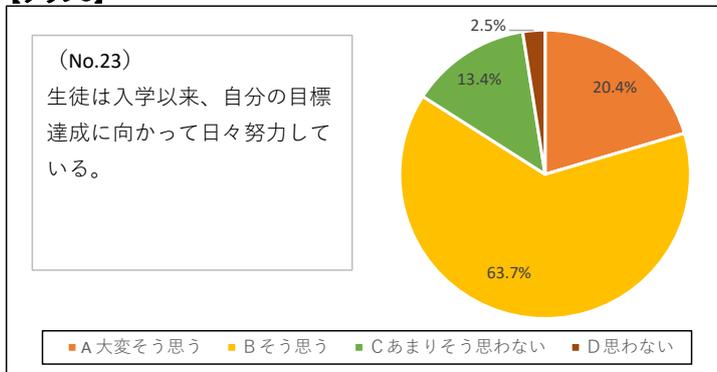
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	9.9%	73.3%	14.7%	2.0%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	5.9%	71.5%	21.1%	1.6%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	18.6%	71.9%	9.0%	0.5%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	18.4%	61.9%	17.1%	2.6%	0.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	47.8%	49.7%	2.3%	0.2%	1.9
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	23.5%	69.7%	6.0%	0.8%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	21.2%	71.8%	6.4%	0.6%	1.3



C その他

【グラフC】

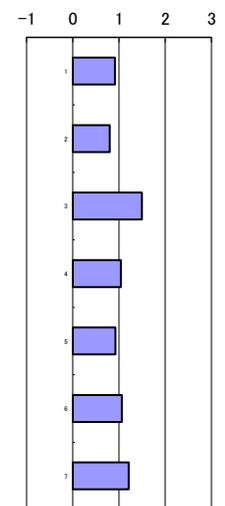


【分析・考察】

・項目23「生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。」は、84.1%で、昨年比+1.3ポイントという評価を得ている。学園での生徒の活躍と充実した生活が実感をもって保護者の方々に実感いただいているという評価であろう。
 ・各項目もおおむね高評価をいただいているが、しいて言えば項目21「本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。」の「A」の評価がやや低いように見られる。的確に取り組んでいると思っているが、保護者の方々には見えなところでの活動もあるので、どのように周知していくかは今後の課題である。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	19.5%	60.2%	16.7%	3.6%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	9.9%	71.9%	16.3%	1.9%	0.8
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	29.6%	66.4%	3.3%	0.8%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	20.4%	63.7%	13.4%	2.5%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	15.7%	67.6%	14.1%	2.6%	0.9
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	16.6%	71.4%	10.4%	1.6%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	19.1%	72.9%	7.6%	0.5%	1.2



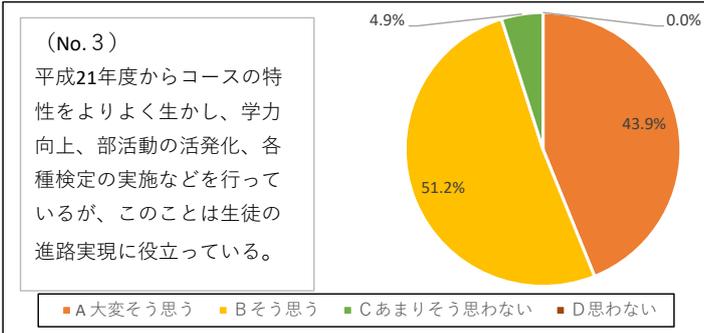
調査結果と考察

4 英進進学コース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

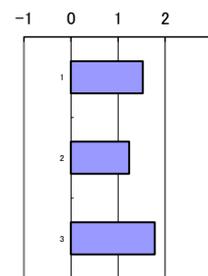
【分析・考察】

・いずれの項目も「肯定的評価」であり、良い感触をもっているものと思われる。特に項目3「平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。」が95.1%と高い数値となっている。長期にわたる学校改革が効果を発揮しているものと見受けられる。
・昨年度に引き続き、項目11「先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。」、項目12「本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。」は高い評価を得ている。また、今年度は項目8「各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。」も非常に高い評価となっており、検定の重要性が教職員の間で認識されているものと思われる。

【表A】

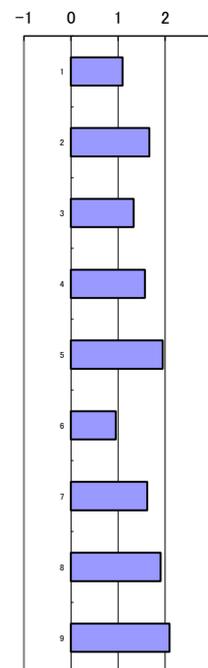
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	28.6%	69.0%	2.4%	0.0%	1.5
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	23.8%	64.3%	11.9%	0.0%	1.2
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	43.9%	51.2%	4.9%	0.0%	1.8



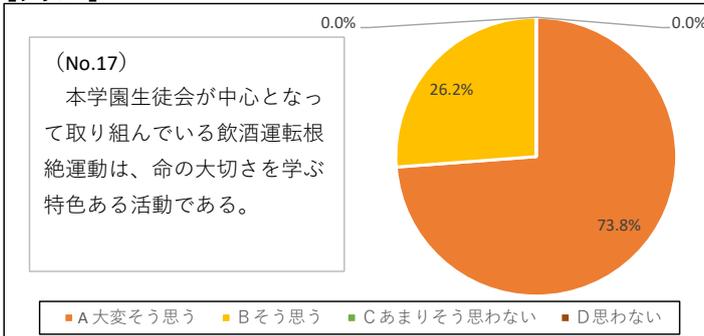
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	16.7%	71.4%	11.9%	0.0%	1.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	35.7%	61.9%	2.4%	0.0%	1.7
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	23.8%	69.0%	7.1%	0.0%	1.3
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	38.1%	52.4%	9.5%	0.0%	1.6
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	50.0%	47.6%	2.4%	0.0%	2.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	16.7%	64.3%	19.0%	0.0%	1.0
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	42.9%	45.2%	11.9%	0.0%	1.6
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	47.6%	50.0%	2.4%	0.0%	1.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	54.8%	45.2%	0.0%	0.0%	2.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

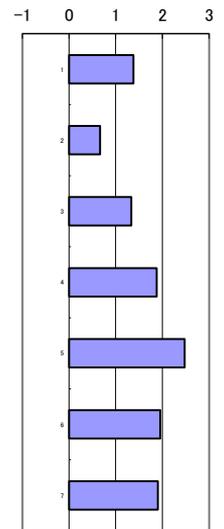


【分析・考察】

・項目17「本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。」は、職員間で定着しており、引き続き肝に銘じていきたい。
・項目14「ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。」は、昨年度比+3.0ポイントとなった。学園内の学校生活については昨年度から落ち着いた雰囲気にあるので、少しずつ数値として認識していただいているものと思われる。
・項目19「本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。」が昨年度と同じ97.6%と高評価である。学園としての取り組みが評価されているものと思われる。

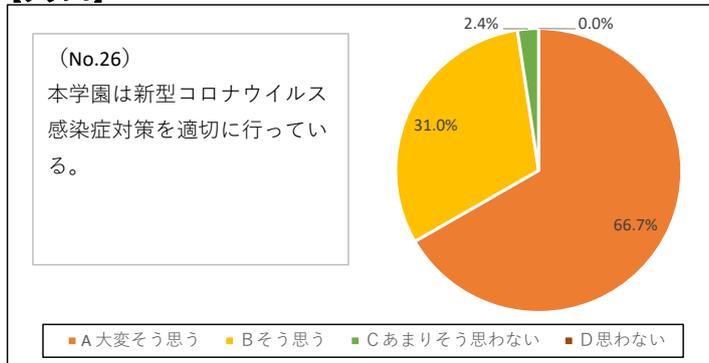
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	35.7%	47.6%	16.7%	0.0%	1.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	11.9%	61.9%	23.8%	2.4%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	26.2%	64.3%	9.5%	0.0%	1.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	51.2%	43.9%	2.4%	2.4%	1.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	73.8%	26.2%	0.0%	0.0%	2.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	2.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	47.6%	50.0%	2.4%	0.0%	1.9



C その他

【グラフC】



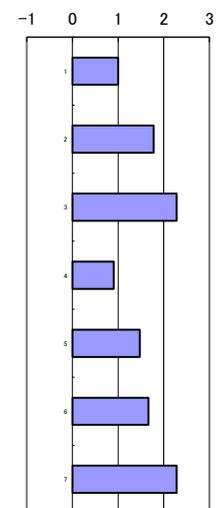
【分析・考察】

・項目26「本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。」は昨年度より2.4ポイントの97.6%の高い値を得ている。前述の通り、学園としての取り組みが評価されているものと思われる。

・項目22「本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。」は100%の高い評価を得た。オンライン授業等ICT教育の教授法の習熟が進み、教職員の間でも取り組みに対するハードルが低くなったのではないかとと思われる。引き続き、教授法の更なる研究を引き続き行っていきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	23.8%	57.1%	14.3%	4.8%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	41.5%	56.1%	2.4%	0.0%	1.8
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	2.3
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	14.3%	66.7%	19.0%	0.0%	0.9
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	35.7%	52.4%	11.9%	0.0%	1.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	38.1%	57.1%	4.8%	0.0%	1.7
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	66.7%	31.0%	2.4%	0.0%	2.3



調査結果と考察

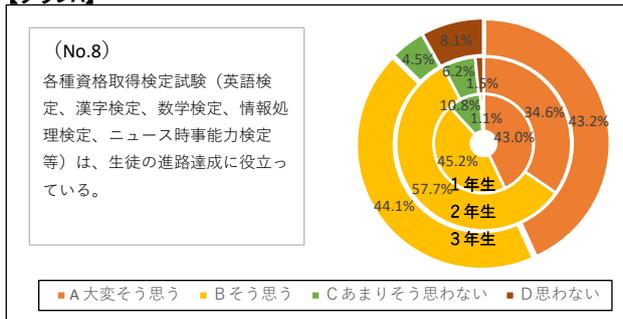
5 情報科学コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A:大変そう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない
 評価平均値 = (A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【グラフA】



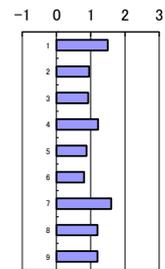
【分析・考察】

○生徒の本コースの取組みに対する評価は、各種資格検定試験への取組みを中心に高い結果を維持している。A評価とB評価を合わせた割合は89%とかなり高く、検定合格やICT活用などの本コースの特徴に対して多くの生徒が支持していると考えられる。(A-8)
 ○授業に関する3項目でも、全て80%以上生徒が肯定的な評価をしており、特にNo3のコースの取り組みの進路実現への影響については、A・B評価の割合が88%であり、昨年度の大学合格者の増加を反映している。(A-3)
 ○進路相談や保護者面談についても、A11については全体の肯定的評価が91%を超えており、丁寧な進路指導が理解を得られていると考える。(A-11)
 ○ただ、A2のオンライン授業やA7進路関係ガイダンスについては、若干否定的評価が増えており、内容面でさらに改善していく必要性を感じている。(A-2・7)

【表A】

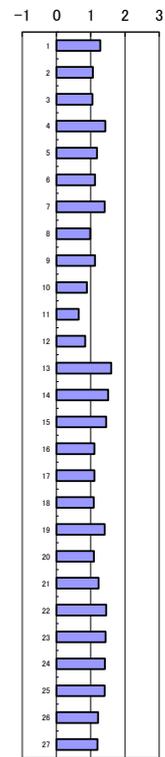
I 授業について

No.	設問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	37.6%	51.6%	8.6%	2.2%	1.5
		2年生	22.1%	59.5%	12.2%	6.1%	1.0
		3年生	27.4%	53.1%	8.0%	11.5%	0.9
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	30.1%	53.8%	12.9%	3.2%	1.2
		2年生	18.3%	61.1%	16.8%	3.8%	0.9
		3年生	22.1%	52.2%	19.5%	6.2%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	36.6%	58.1%	4.3%	1.1%	1.6
		2年生	27.5%	58.8%	9.9%	3.8%	1.2
		3年生	33.6%	50.4%	8.0%	8.0%	1.2



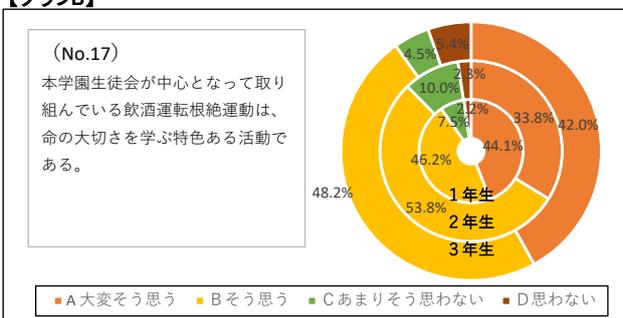
II 教育課程について

No.	設問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	30.1%	58.1%	7.5%	4.3%	1.3
		2年生	20.8%	63.8%	13.1%	2.3%	1.1
		3年生	28.6%	54.5%	8.0%	8.9%	1.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	34.4%	54.8%	8.6%	2.2%	1.4
		2年生	22.1%	68.7%	5.3%	3.8%	1.2
		3年生	25.9%	60.7%	7.1%	6.3%	1.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	36.6%	49.5%	11.8%	2.2%	1.4
		2年生	18.3%	65.6%	13.0%	3.1%	1.0
		3年生	27.7%	57.1%	8.9%	6.3%	1.1
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在校生懇話会」)を活用している。	1年生	24.7%	52.7%	15.1%	7.5%	0.9
		2年生	17.7%	53.8%	21.5%	6.9%	0.6
		3年生	25.9%	48.2%	17.9%	8.0%	0.8
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	43.0%	45.2%	10.8%	1.1%	1.6
		2年生	34.6%	57.7%	6.2%	1.5%	1.5
		3年生	43.2%	44.1%	4.5%	8.1%	1.5
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	30.1%	48.4%	18.3%	3.2%	1.1
		2年生	23.1%	62.3%	11.5%	3.1%	1.1
		3年生	29.5%	51.8%	12.5%	6.3%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	32.3%	58.1%	7.5%	2.2%	1.4
		2年生	19.2%	68.5%	10.0%	2.3%	1.1
		3年生	32.1%	52.7%	9.8%	5.4%	1.2
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	34.4%	54.8%	9.7%	1.1%	1.5
		2年生	30.8%	62.3%	4.6%	2.3%	1.4
		3年生	38.7%	50.5%	3.6%	7.2%	1.4
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇話会」を適切に実施している。	1年生	34.4%	55.9%	5.4%	4.3%	1.4
		2年生	21.5%	70.0%	6.2%	2.3%	1.2
		3年生	28.6%	57.1%	9.8%	4.5%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

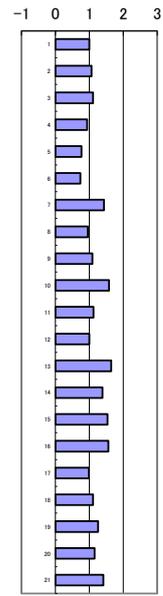


【分析・考察】

○学園が大切にしている飲酒運転根絶への取組みは、引き続き今年度も高評価を得ており、この活動がしっかりと根付いていることを示している。(B-17)
 ○コロナ後再開2年目の育英祭については、上昇した昨年をさらに上回る高評価を示しており、特に1年生の肯定的評価は88.2%を超えている。このような学校行事の意義を認識してよりよいものを目指したい。(B-16)
 ○B14の「ゼロディフェクト」については、他と比較すると低い数値だが、年々評価値が上がっており、服装・頭髪の指導などが少しずつ生徒に浸透していると感じる。このような日常的な習慣の中に問題行動の糸口が隠されていることを意識して、指導して行きたい。(B-14)

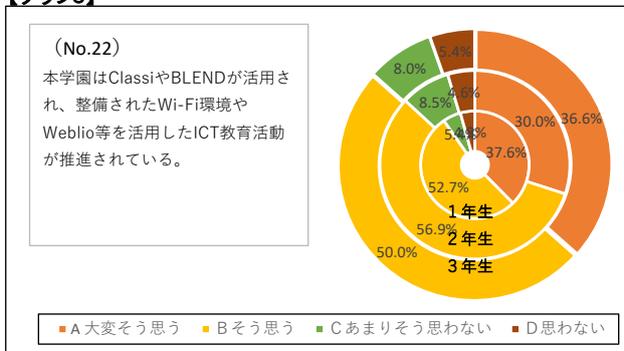
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値	
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	28.0%	51.6%	12.9%	7.5%	1.0
		2年生	20.8%	66.2%	8.5%	4.6%	1.1
		3年生	28.6%	54.5%	10.7%	6.3%	1.1
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	25.8%	50.5%	18.3%	5.4%	0.9
		2年生	14.6%	64.6%	15.4%	5.4%	0.8
		3年生	20.5%	55.4%	14.3%	9.8%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	37.6%	47.3%	14.0%	1.1%	1.4
		2年生	18.5%	65.4%	11.5%	4.6%	1.0
		3年生	26.8%	56.3%	11.6%	5.4%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	45.2%	43.0%	7.5%	4.3%	1.6
		2年生	24.6%	60.8%	10.8%	3.8%	1.1
		3年生	29.5%	49.1%	13.4%	8.0%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	44.1%	46.2%	7.5%	2.2%	1.6
		2年生	33.8%	53.8%	10.0%	2.3%	1.4
		3年生	42.0%	48.2%	4.5%	5.4%	1.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	38.7%	52.7%	6.5%	2.2%	1.6
		2年生	18.5%	65.4%	13.1%	3.1%	1.0
		3年生	25.9%	59.8%	8.0%	6.3%	1.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	30.1%	54.8%	12.9%	2.2%	1.3
		2年生	21.5%	66.9%	9.2%	2.3%	1.2
		3年生	39.3%	47.3%	8.0%	5.4%	1.4



C その他

【グラフC】



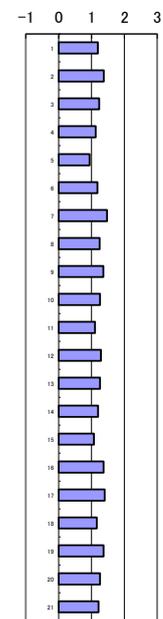
【分析・考察】

〇Cの全項目で上昇した昨年と比べると、評価値は横ばいであるが、全てにおいて85%前後の肯定評価を得られた。中でもC22のICTを用いた教育活動については全学年で88%という高い肯定的評価であり、ClassiやSlackを活用して教師と詳細なやり取りがスムーズに行えることを反映していると言える。(C-22)

〇C24・25の教員に対する評価については若干の変動はあるものの、85～86%のA・B評価を得られた。C23の87%と併せて考えると、本校において、生徒も教員も落ち着いた環境の中で教育活動に携わっている様子がイメージできよう。さらに、生徒の納得感を高めるべく環境の整備を進めていきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値	
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	38.7%	40.9%	11.8%	8.6%	1.2
		2年生	33.1%	55.4%	8.5%	3.1%	1.4
		3年生	38.4%	44.6%	7.1%	9.8%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	25.8%	58.1%	12.9%	3.2%	1.1
		2年生	20.8%	60.8%	13.1%	5.4%	0.9
		3年生	31.3%	52.7%	9.8%	6.3%	1.2
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	37.6%	52.7%	5.4%	4.3%	1.5
		2年生	30.0%	56.9%	8.5%	4.6%	1.2
		3年生	36.6%	50.0%	8.0%	5.4%	1.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	31.2%	54.8%	9.7%	4.3%	1.3
		2年生	23.1%	63.1%	10.0%	3.8%	1.1
		3年生	31.3%	58.0%	4.5%	6.3%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	31.2%	53.8%	11.8%	3.2%	1.3
		2年生	23.8%	63.8%	10.8%	1.5%	1.2
		3年生	27.0%	56.8%	9.0%	7.2%	1.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	35.5%	50.5%	10.8%	3.2%	1.4
		2年生	34.6%	53.8%	8.5%	3.1%	1.4
		3年生	32.4%	51.4%	8.1%	8.1%	1.2
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	34.4%	51.6%	11.8%	2.2%	1.4
		2年生	26.9%	62.3%	7.7%	3.1%	1.3
		3年生	32.1%	52.7%	8.9%	6.3%	1.2



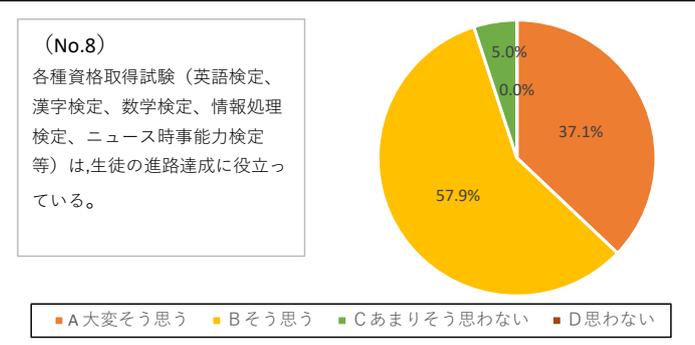
調査結果と考察

5 情報科学コース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

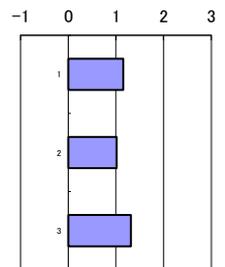
【分析・考察】

○全項目でほぼ昨年並みの高評価を得られている。特にA8資格試験の進路達成への効果については、情報科学コースの特色としてしっかりと理解を得ていると考えられる。(A-8)
 ○A1～3の授業についてもほぼ昨年同様の数値であるが、生徒と同様にA3の評価値が最も高く、前年比1ポイント上昇している。資格等が大学の合格実績に結びついていることが保護者にも少しずつ理解されてきていると思われる。(A-3)
 ○次に高いのがA11の進路相談やA12の学級懇談の2項目で、それぞれA・B評価の合計が89.3%と91.6%とかなりの高評価である。日々のslackによる情報発信等によってコースの取組みが保護者にも浸透していると言えるが、さらに対面での面談の機会をしっかりと継続していきたい。(A-11・12)

【表A】

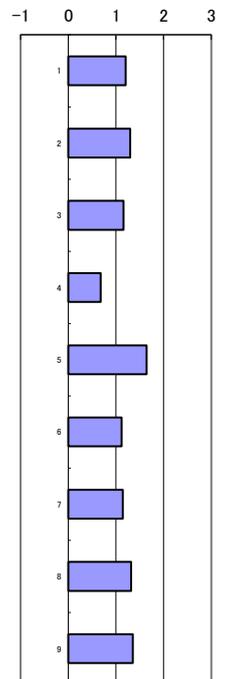
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	19.3%	69.4%	11.0%	0.3%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	15.7%	69.7%	14.3%	0.3%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	25.3%	66.0%	7.7%	1.0%	1.3



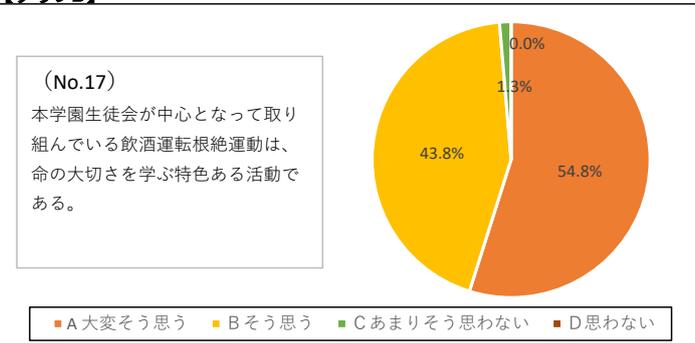
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	22.0%	66.7%	11.0%	0.3%	1.2
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	23.4%	68.2%	8.4%	0.0%	1.3
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	19.1%	69.8%	11.1%	0.0%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	13.7%	58.2%	26.4%	1.7%	0.7
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	37.1%	57.9%	5.0%	0.0%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	19.1%	68.6%	11.7%	0.7%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	18.4%	70.9%	10.4%	0.3%	1.1
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	28.1%	61.2%	9.4%	1.3%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	26.4%	65.2%	8.0%	0.3%	1.4



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



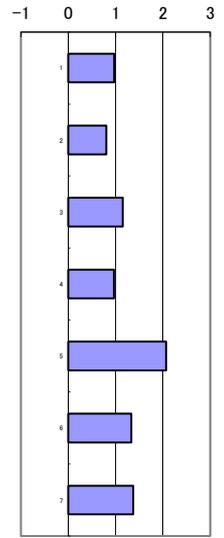
【分析・考察】

○Bの全項目にわたって、昨年同様高い評価値を示した。特に飲酒運転根絶への取り組みは生徒とともに保護者からも大変高い評価を得ており、昨年度と同じ、2.1ポイントという高い結果を示した。本学園が大切にしているこの運動が十分浸透しているものと思われる。(B-17)

○B14の数値が比較的低いままであるが、80%を超える肯定的評価を得ており、今後も保護者との連絡・連携を綿密にししながら、生徒指導に取り組んでいきたい。(B-14)

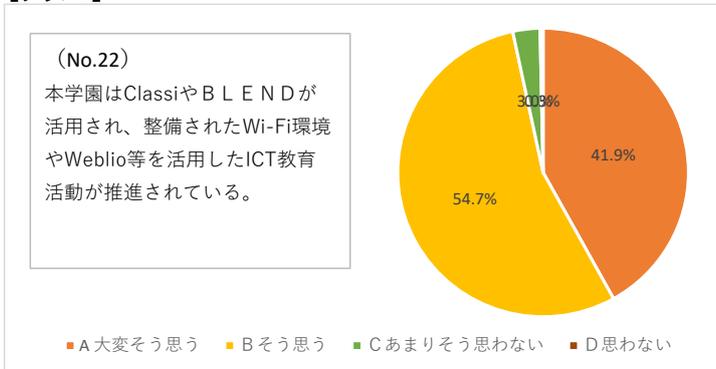
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	14.1%	71.8%	12.8%	1.3%	1.0
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	9.7%	71.6%	18.1%	0.7%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	17.4%	73.6%	8.4%	0.7%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	15.4%	69.6%	13.0%	2.0%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	54.8%	43.8%	1.3%	0.0%	2.1
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	21.7%	73.2%	5.0%	0.0%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	24.7%	69.7%	5.3%	0.3%	1.4



C その他

【グラフC】

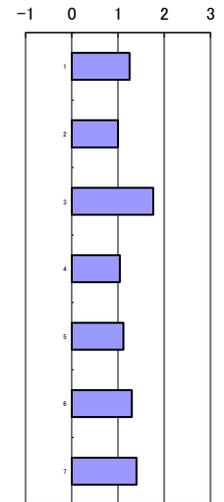


【分析・考察】

○学校の施設設備の保護者満足度は高く、前年同様ICT環境の整備やその活用について、きわめて高い評価を得ている。A・B評価の合計は96.6%に達し、情報科学コースとしては心強い結果であり、今後も方向性を持ってふれずに進んでいきたい。(C-22)
 ○C26の新型コロナウイルス感染症対策においても評価が高く、B19の94.4%というA・B評価にもはっきりと見て取れる。未だに消滅することなく本校でも感染が継続しており、気を緩めることなく実施していきたい。(B-19)(C-26)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	28.3%	58.3%	11.0%	2.3%	1.3
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	13.7%	73.9%	11.0%	1.3%	1.0
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	41.9%	54.7%	3.0%	0.3%	1.8
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	19.4%	64.9%	14.0%	1.7%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	21.9%	64.0%	12.5%	1.7%	1.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	22.3%	70.9%	6.1%	0.7%	1.3
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	25.9%	68.7%	5.1%	0.3%	1.4



調査結果と考察

5 情報科学コース

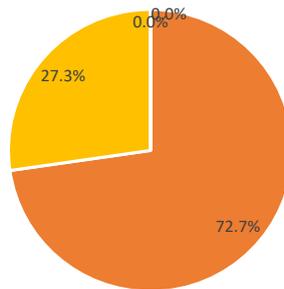
(3) 教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

(No.8)

各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。



■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

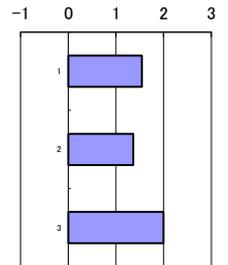
【分析・考察】

○ 授業に関する3項目のうち、「1 授業内容」と「3 進路実現への効果」の2項目で昨年を上回り、かなりの高評価になっている。オンライン授業についてはやや下がっているため、今後も授業を含めた教育活動の内容をさらに改善していきたい。(A-1・3)
 ○ II 教育課程については昨年同様、肯定的評価が80%以上を占める高い評価を示している。特に「資格試験への取り組みが進路達成につながる」評価も昨年を上回りA評価が3/4を占めている。目標にむけて情報科をサポートしながらコースとして取り組んでいる自負が感じられる。(A-8)
 ○ 生徒からの相談への対応や面談及び教育懇談の実施についても、昨年同様評価は高い。担任だけでなく、コース全体で対応していることが実感できていると思われる。(A-11,12)

【表A】

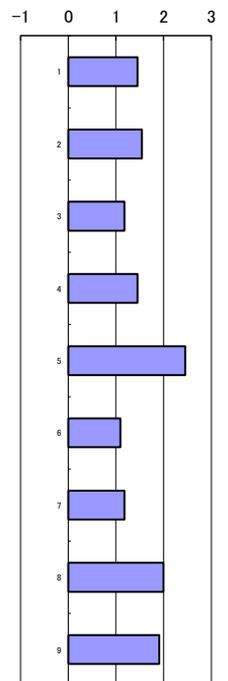
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行き、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	31.8%	63.6%	4.5%	0.0%	1.5
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	27.3%	68.2%	0.0%	4.5%	1.4
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0



II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	27.3%	68.2%	4.5%	0.0%	1.5
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	1.5
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	18.2%	72.7%	9.1%	0.0%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	36.4%	50.0%	13.6%	0.0%	1.5
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	2.5
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	23.8%	57.1%	19.0%	0.0%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	27.3%	54.5%	18.2%	0.0%	1.2
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9

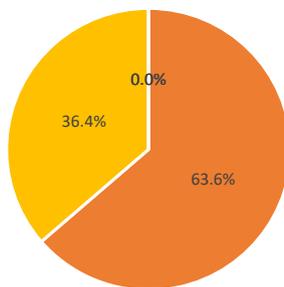


B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

(No.17)

本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。



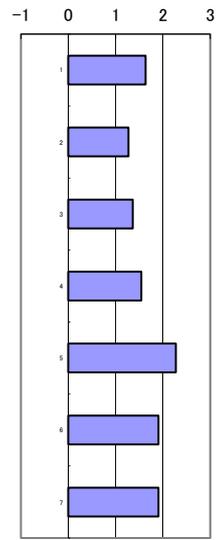
■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

【分析・考察】

○ Bについても全体に高い評価を保っており、「ゼロディフェクト」と「育英祭」の項目で昨年の数値を上回っている。(B-14,16)
 ○ 本校生徒会が中心となって取り組む飲酒運転根絶運動は全員が肯定的に評価しており、スタッフの中でもこの運動の重要性がしっかりと理解されている。(B-17)
 ○ またグローバル人材の育成についても同様に100%の肯定的評価となっており、さまざまな国際化に向けた学園の取り組みも教員に浸透していると思われる。(B-18)
 ○ 一方、地域清掃やボランティア活動は、昨年度よりも0.4ポイント低下しており、このような社会と連携した取り組みを進めていきたい。(B-15)

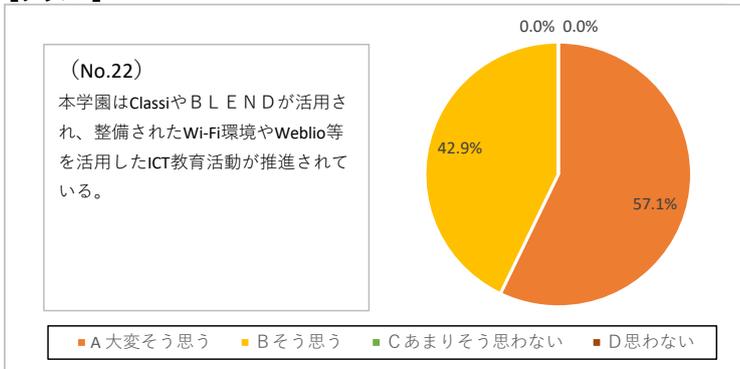
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	36.4%	59.1%	4.5%	0.0%	1.6
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	22.7%	68.2%	9.1%	0.0%	1.3
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	1.4
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	1.5
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	2.3
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	50.0%	45.5%	4.5%	0.0%	1.9



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

○表Cの中で最も高い評価を得たのは22「ICT教育活動」で、Aの評価が最も高い割合を占める結果となった。本校のICT教育の定着を実感できる数値であろう。(C-22)

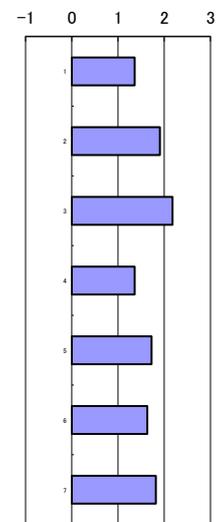
○20「施設設備」と23「生徒の目標達成に向けた努力」の2項目で昨年よりもそれぞれ0.2ポイントずつ上がっている。学園の様々な取り組みに対して生徒が反応し、活用している様子が見てとれよう。(C-20,23)

○一方で、その他の5項目は全て否定的な評価が消えて、全員が肯定的評価をしている。学園におけるリスク管理のためのさまざまな対応が評価されていることの表れと言える。

○新型コロナウイルス感染症対策の項目については0.7ポイント低下しているが、否定的評価が増えたわけではなく、感染者全体数の減少に伴って、対策が浸透している証左であるとも言えよう。(C-26)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	31.8%	59.1%	4.5%	4.5%	1.4
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%	2.2
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	1.7
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	31.8%	68.2%	0.0%	0.0%	1.6
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	40.9%	59.1%	0.0%	0.0%	1.8



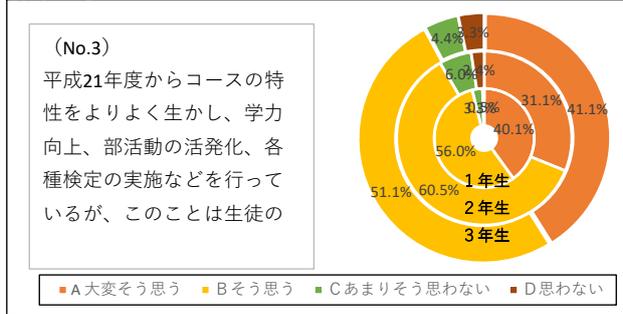
調査結果と考察

6 フレックスコース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

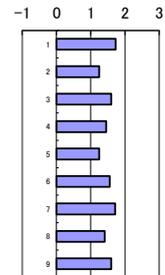
【分析・考察】

○グラフA(設問3)より
 本校フレックスコースの特長である部活動や各種検定試験の取組みが進路希望達成に役立っていることが評価されている。今後もさらに充実を図りたい。(A-3)
 ○表A(設問11)より
 担任の先生方は、定期的な面談のほかにも、日々生徒の様子を観察し、きめ細かな声がけ・相談を行っている。

【表A】

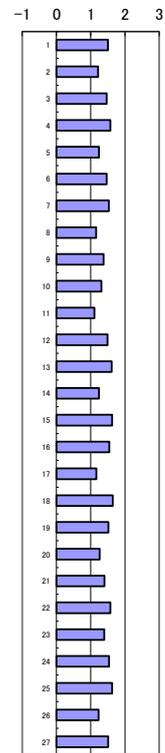
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	43.4%	50.5%	4.9%	1.1%	1.7
		2年生	28.7%	58.1%	10.2%	3.0%	1.3
		3年生	40.0%	51.1%	7.8%	1.1%	1.6
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	33.5%	56.6%	8.8%	1.1%	1.5
		2年生	28.7%	58.1%	10.2%	3.0%	1.3
		3年生	36.7%	54.4%	8.9%	0.0%	1.6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	40.1%	56.0%	3.3%	0.5%	1.7
		2年生	31.1%	60.5%	6.0%	2.4%	1.4
		3年生	41.1%	51.1%	4.4%	3.3%	1.6



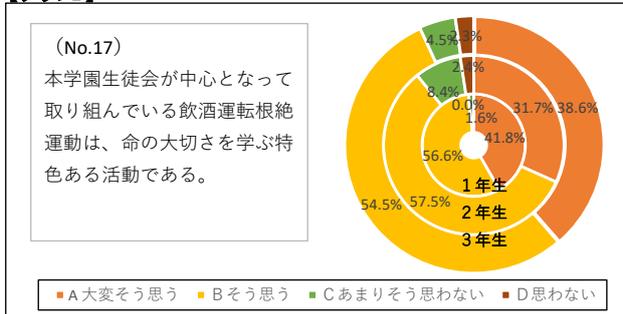
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	35.2%	56.6%	6.6%	1.6%	1.5
		2年生	27.5%	58.7%	10.8%	3.0%	1.2
		3年生	33.3%	57.8%	7.8%	1.1%	1.5
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	34.1%	60.4%	5.5%	0.0%	1.6
		2年生	26.3%	61.7%	9.6%	2.4%	1.2
		3年生	35.6%	54.4%	7.8%	2.2%	1.5
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	34.8%	58.0%	6.1%	1.1%	1.5
		2年生	27.3%	57.6%	10.9%	4.2%	1.2
		3年生	32.2%	58.9%	4.4%	4.4%	1.4
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	28.2%	60.2%	10.5%	1.1%	1.3
		2年生	21.6%	65.3%	10.2%	3.0%	1.1
		3年生	35.6%	56.7%	4.4%	3.3%	1.5
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	36.7%	58.3%	3.9%	1.1%	1.6
		2年生	23.5%	67.5%	6.6%	2.4%	1.2
		3年生	37.8%	56.7%	4.4%	1.1%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	32.2%	63.3%	3.9%	0.6%	1.5
		2年生	22.2%	65.9%	10.2%	1.8%	1.2
		3年生	38.9%	54.4%	6.7%	0.0%	1.6
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	32.4%	62.6%	3.3%	1.6%	1.5
		2年生	23.4%	68.3%	6.6%	1.8%	1.3
		3年生	34.4%	54.4%	7.8%	3.3%	1.4
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	35.2%	58.8%	5.5%	0.5%	1.6
		2年生	29.3%	62.9%	6.0%	1.8%	1.4
		3年生	36.7%	55.6%	5.6%	2.2%	1.5
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	34.1%	63.2%	2.7%	0.0%	1.6
		2年生	22.2%	68.3%	8.4%	1.2%	1.2
		3年生	34.4%	58.9%	4.4%	2.2%	1.5



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

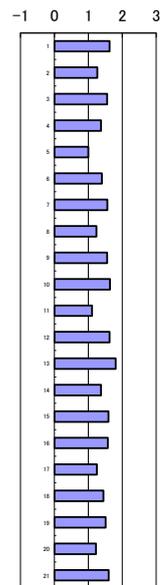


【分析・考察】

○グラフB(設問17)より
 本学園生徒会が中心になって取り組んでいる飲酒運転根絶運動に対して、命の大切さについて認識を深める学びの機会であるとしっかりと考えている結果である。(B-17)
 ○表B(設問14)より
 ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)について、他の項目に比べて評価が低い。基本的な生活習慣が身につけていない生徒に問題行動や服装・頭髪等のみだれが見受けられるため、家庭の協力を得ながら、ルールを守ることの大切さを心に響くように指導に努めたい。(B-14)

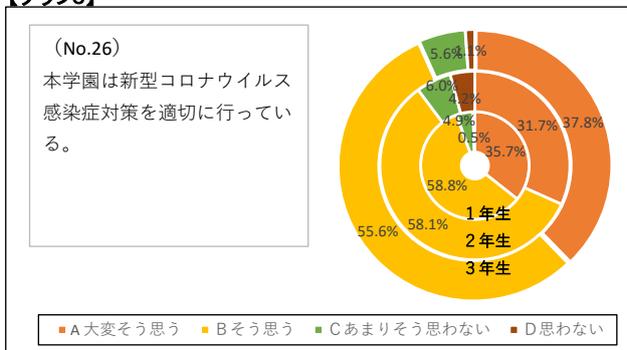
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値	
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	39.6%	53.3%	6.0%	1.1%	1.6
		2年生	26.9%	62.3%	7.8%	3.0%	1.3
		3年生	35.6%	58.9%	3.3%	2.2%	1.6
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	30.2%	59.9%	8.2%	1.6%	1.4
		2年生	21.0%	61.7%	13.8%	3.6%	1.0
		3年生	33.3%	55.6%	8.9%	2.2%	1.4
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	36.3%	56.6%	6.0%	1.1%	1.6
		2年生	24.6%	65.9%	6.6%	3.0%	1.2
		3年生	36.7%	56.7%	4.4%	2.2%	1.6
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	37.4%	57.7%	4.4%	0.5%	1.6
		2年生	22.8%	64.1%	9.0%	4.2%	1.1
		3年生	42.2%	48.9%	6.7%	2.2%	1.6
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	41.8%	56.6%	1.6%	0.0%	1.8
		2年生	31.7%	57.5%	8.4%	2.4%	1.4
		3年生	38.6%	54.5%	4.5%	2.3%	1.6
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	34.1%	61.0%	4.4%	0.5%	1.6
		2年生	23.4%	67.7%	7.2%	1.8%	1.3
		3年生	33.3%	57.8%	6.7%	2.2%	1.4
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	34.6%	58.2%	4.9%	2.2%	1.5
		2年生	25.1%	64.7%	6.6%	3.6%	1.2
		3年生	38.9%	54.4%	4.4%	2.2%	1.6



C その他

【グラフC】

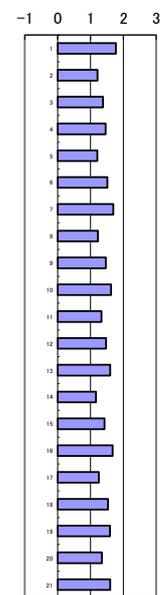


【分析・考察】

○グラフC(設問26)より
新型コロナウイルス感染症対策については、予防策及び、感染者に対する迅速な対応等、適切に行っているとの結果に繋がっている。(C-26)
○表C(設問23)より
学習と部活動の両立を図りながら、高い目標に向かって日々努力していることが数値に表れている。生徒一人一人の目標達成に向けて支援に努めたい。(C-23)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値	
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	42.5%	53.6%	3.9%	0.0%	1.8
		2年生	32.3%	52.7%	8.4%	6.6%	1.2
		3年生	34.4%	55.6%	4.4%	5.6%	1.4
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	33.0%	58.2%	7.7%	1.1%	1.5
		2年生	25.3%	62.7%	9.0%	3.0%	1.2
		3年生	33.3%	60.0%	5.6%	1.1%	1.5
22	本学園はClassyやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	38.5%	57.7%	3.8%	0.0%	1.7
		2年生	27.5%	60.5%	7.8%	4.2%	1.2
		3年生	36.7%	52.2%	8.9%	2.2%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	34.6%	62.6%	2.2%	0.5%	1.6
		2年生	26.9%	64.7%	6.6%	1.8%	1.3
		3年生	33.7%	57.3%	7.9%	1.1%	1.5
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	35.6%	59.4%	4.4%	0.6%	1.6
		2年生	21.6%	67.7%	8.4%	2.4%	1.2
		3年生	31.5%	59.6%	7.9%	1.1%	1.4
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	38.1%	58.0%	3.3%	0.6%	1.7
		2年生	25.7%	63.5%	8.4%	2.4%	1.3
		3年生	35.6%	56.7%	6.7%	1.1%	1.5
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	35.7%	58.8%	4.9%	0.5%	1.6
		2年生	31.7%	58.1%	6.0%	4.2%	1.3
		3年生	37.8%	55.6%	5.6%	1.1%	1.6



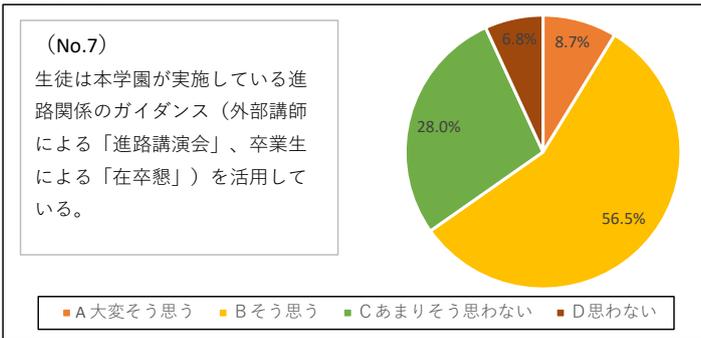
調査結果と考察

6 フレックスコース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数×3 + B度数×1 + C度数×(-1) + D度数×(-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

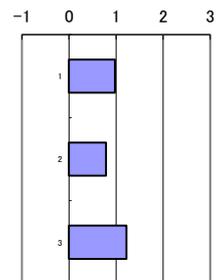
○グラフA(設問7)より
 「進路ガイダンス」「在卒懇」に関する生徒の評価は高く、有意義と捉えているが、生徒から保護者への詳しい報告がないため、低い評価になっていると推察される。実施方法の工夫や内容の充実及び保護者への発信方法を新たに考えていきたい。(A-7)

○表A(設問3)より
 本コースの特長を理解していただき、進路実現に役立っていると評価していただいている。(A-3)

【表A】

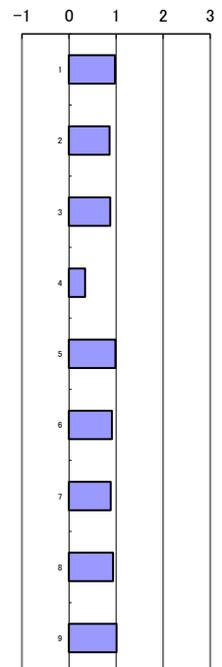
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	13.7%	72.0%	13.7%	0.6%	1.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	9.9%	70.2%	19.3%	0.6%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	24.8%	63.4%	9.9%	1.9%	1.2



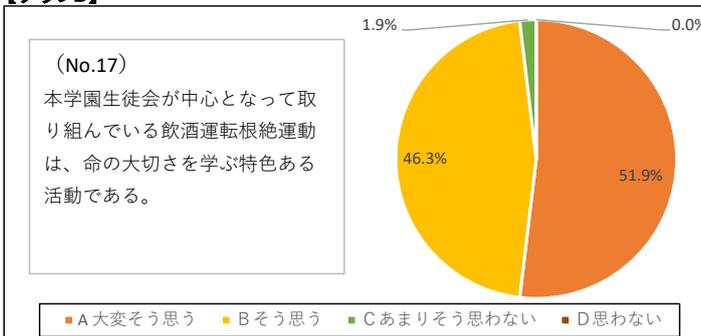
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	17.4%	66.5%	13.7%	2.5%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	11.9%	72.5%	12.5%	3.1%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	13.8%	66.3%	20.0%	0.0%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	8.7%	56.5%	28.0%	6.8%	0.3
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	17.4%	67.1%	13.0%	2.5%	1.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	14.3%	68.9%	14.9%	1.9%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	13.7%	70.2%	13.0%	3.1%	0.9
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	19.4%	60.6%	17.5%	2.5%	0.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	21.3%	59.4%	18.1%	1.3%	1.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



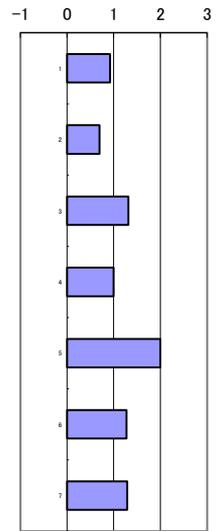
【分析・考察】

○グラフB(設問17)より
 生徒・教職員と同じく学園生徒会が中心に取り組んでいる飲酒運転根絶運動の取組みに高い評価をしていただいていることが現れている。命の大切さを学ぶ貴重な機会として今後も継続して取り組んでいかなければならない。(B-17)

○表B(設問14)より
 保護者の皆様も、ゼロディフェクト運動の成果が上がっていないと評価される方が少なくない。基本的な生活習慣や服装指導等を工夫して実施していきたい。(B-14)

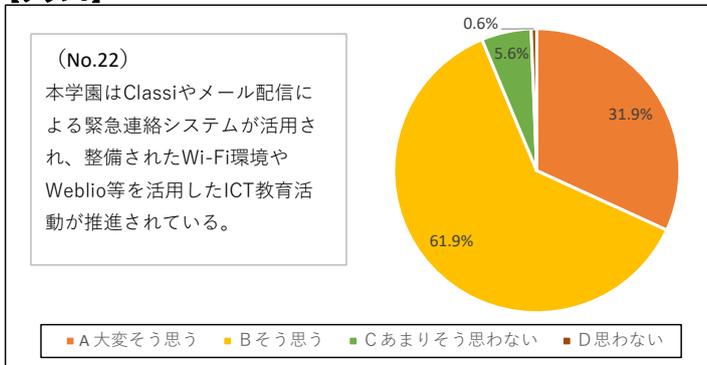
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	13.2%	71.1%	14.5%	1.3%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	9.4%	67.9%	20.8%	1.9%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	23.9%	68.6%	6.9%	0.6%	1.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	19.4%	63.8%	14.4%	2.5%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	51.9%	46.3%	1.9%	0.0%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	20.6%	73.1%	5.6%	0.6%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	23.3%	67.9%	8.8%	0.0%	1.3



C その他

【グラフC】



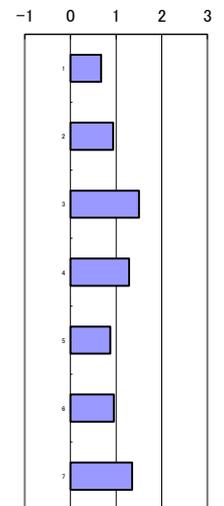
【分析・考察】

○グラフC(設問22)より
Classiやメール配信の迅速さや充実感を評価しているものと思われる。1年次生全員がOwnPCを購入して3年目となるため、クラスごとの連絡や教科からの課題配信等は充実してきたが、授業での活用に更なる工夫ができるようになっていきたい。(C-22)

○表C(設問20)より
概ね施設設備については満足度が高い状況ではあるが、北辰館の教室から食堂・売店までの距離があることと、寮生の食事に関する要望が満たされていない面もある。(C-20)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	16.9%	55.0%	23.1%	5.0%	0.7
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	13.9%	71.5%	12.0%	2.5%	0.9
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	31.9%	61.9%	5.6%	0.6%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	33.1%	50.0%	15.0%	1.9%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	17.6%	60.4%	20.1%	1.9%	0.9
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	16.4%	67.3%	13.8%	2.5%	0.9
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	26.3%	65.0%	8.8%	0.0%	1.4



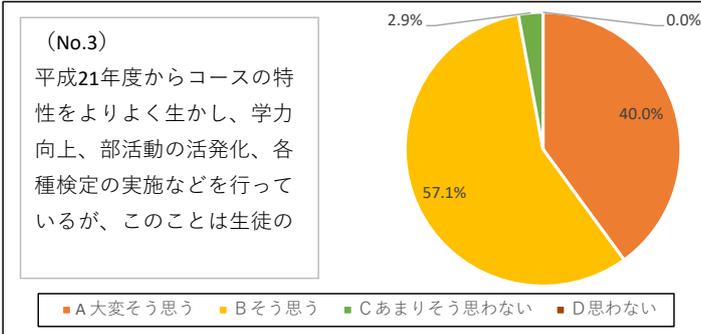
調査結果と考察

6 フレックスコース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

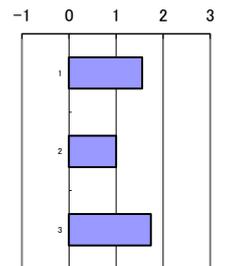
【分析・考察】

○グラフA(設問3)より
本校コースの特長である部活動や各種検定試験の取組み、学校設定科目の授業設定等が、進路希望達成に役立っていると評価されている。今後もさらに充実を図りたい。(A-3)
○表A(設問12)より
定期的に面談週間が設定されているほかに、日常的にも生徒の学習や進路についての悩みに先生方が適切に対応していると評価しているもので、様々な問題を抱えた生徒の悩みなどに寄り添った支援・指導を行っている。(A-12)

【表A】

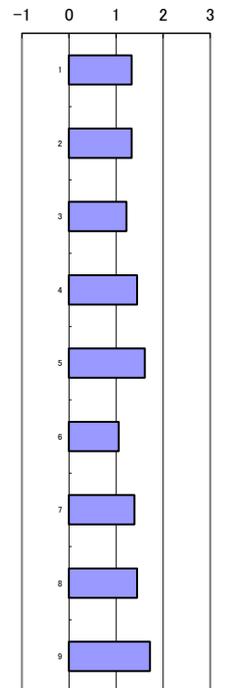
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	30.6%	66.7%	2.8%	0.0%	1.6
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	40.0%	57.1%	2.9%	0.0%	1.7



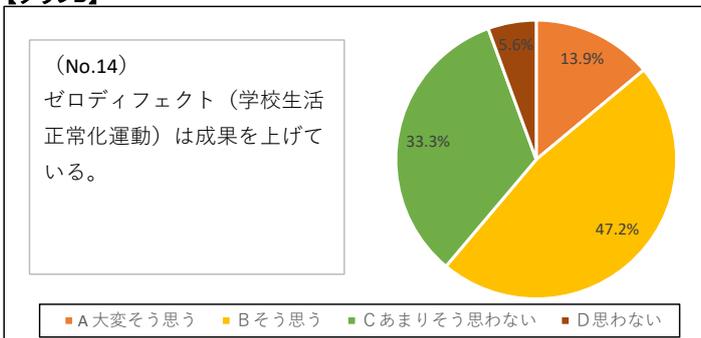
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	22.2%	72.2%	5.6%	0.0%	1.3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	19.4%	77.8%	2.8%	0.0%	1.3
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	19.4%	72.2%	8.3%	0.0%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	36.1%	50.0%	13.9%	0.0%	1.4
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	36.1%	58.3%	5.6%	0.0%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	22.2%	58.3%	19.4%	0.0%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	27.8%	63.9%	8.3%	0.0%	1.4
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	27.8%	66.7%	5.6%	0.0%	1.4
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	38.9%	58.3%	2.8%	0.0%	1.7



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

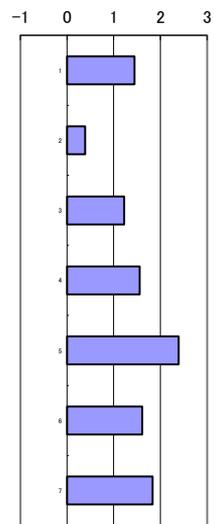


【分析・考察】

○グラフB(設問14)より
低い数値にはなっているが、日常的に声掛けを行い指導しているところは高く評価したい。教員と生徒の信頼関係を築きながら、あるべき仙台育英学園生の姿になるよう粘り強い指導と支援を継続していく。(B-14)
○表B(設問17)より
i-Lion Dayの取り組みにより、意識が高まったものと考察できる。(B-17)

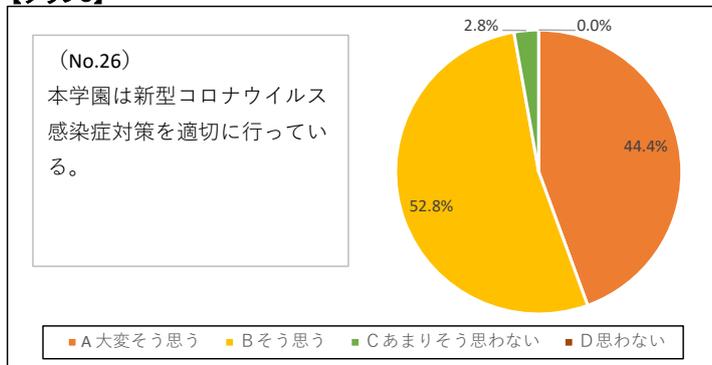
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	30.6%	61.1%	8.3%	0.0%	1.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	13.9%	47.2%	33.3%	5.6%	0.4
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	36.1%	55.6%	8.3%	0.0%	1.6
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	69.4%	30.6%	0.0%	0.0%	2.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	38.9%	55.6%	2.8%	2.8%	1.6
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	1.8



C その他

【グラフC】



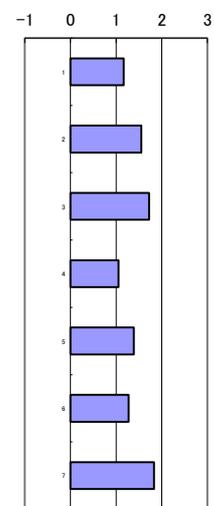
【分析・考察】

○グラフC(設問26)より
予防策の徹底と発生後の迅速かつ適切な対応が各クラス担任・部活動顧問とも、徹底していることが、評価に繋がっている。(C-26)

○表C(設問22)より
Classiやメール配信の迅速さや伝達事項を精選していることが評価されているものと思われる。1年次生全員がOwnPCを購入して3年目となることから、クラスごとの連絡や教科からの課題配信等は充実してきた。今後は授業での活用に更なる工夫ができるようにしていきたい。(C-22)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	33.3%	44.4%	19.4%	2.8%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	30.6%	66.7%	2.8%	0.0%	1.6
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	44.4%	47.2%	8.3%	0.0%	1.7
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	19.4%	63.9%	16.7%	0.0%	1.1
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	25.0%	69.4%	5.6%	0.0%	1.4
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	25.0%	66.7%	5.6%	2.8%	1.3
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	44.4%	52.8%	2.8%	0.0%	1.8

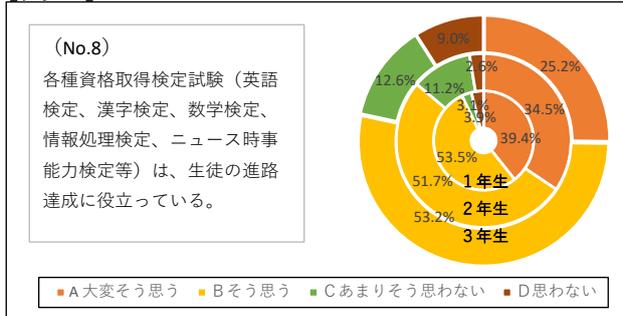


調査結果と考察
7 技能開発コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

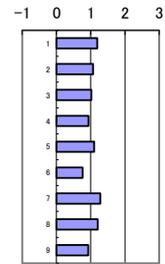
【分析・考察】

○グラフA(設問8)より
高校時代に努力した証として各種資格取得検定試験の価値を認識している生徒が多い。取得した資格とともに、自分自身に対する自信をもって就職試験・入学試験に臨む姿が見受けられる。(A-8)
○表A(設問3)より
本校技能開発コースの特長である部活動や各種検定試験の取組み、学校設定科目の授業設定等が進路希望達成に役立っていることが評価されている。今後もさらに充実を図りたい。(A-3)

【表A】

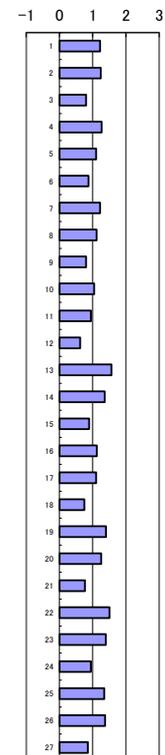
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	27.6%	59.1%	8.7%	4.7%	1.2
		2年生	24.8%	58.1%	12.8%	4.3%	1.1
		3年生	28.8%	49.5%	15.3%	6.3%	1.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	23.6%	53.5%	18.9%	3.9%	0.9
		2年生	30.8%	47.0%	18.8%	3.4%	1.1
		3年生	23.4%	50.5%	17.1%	9.0%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	29.1%	59.8%	7.1%	3.9%	1.3
		2年生	28.2%	57.3%	11.1%	3.4%	1.2
		3年生	23.4%	55.9%	14.4%	6.3%	0.9



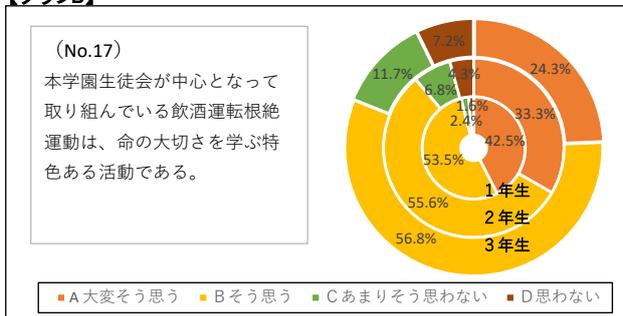
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	27.6%	61.4%	5.5%	5.5%	1.2
		2年生	31.0%	55.2%	8.6%	5.2%	1.2
		3年生	26.1%	46.8%	18.0%	9.0%	0.8
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	27.6%	62.2%	6.3%	3.9%	1.3
		2年生	27.4%	55.6%	12.0%	5.1%	1.1
		3年生	23.6%	55.5%	11.8%	9.1%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	26.8%	61.4%	7.9%	3.9%	1.2
		2年生	29.9%	52.1%	12.0%	6.0%	1.1
		3年生	20.7%	56.8%	14.4%	8.1%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	24.4%	59.8%	9.4%	6.3%	1.0
		2年生	23.9%	54.7%	16.2%	5.1%	0.9
		3年生	21.6%	47.7%	20.7%	9.9%	0.6
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	39.4%	53.5%	3.1%	3.9%	1.6
		2年生	34.5%	51.7%	11.2%	2.6%	1.4
		3年生	25.2%	53.2%	12.6%	9.0%	0.9
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	26.0%	59.1%	10.2%	4.7%	1.1
		2年生	27.4%	56.4%	10.3%	6.0%	1.1
		3年生	21.6%	52.3%	18.0%	8.1%	0.7
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	32.5%	57.9%	6.3%	3.2%	1.4
		2年生	30.8%	55.6%	9.4%	4.3%	1.3
		3年生	22.5%	51.4%	18.0%	8.1%	0.8
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	34.6%	58.3%	4.7%	2.4%	1.5
		2年生	32.5%	57.3%	7.7%	2.6%	1.4
		3年生	27.0%	52.3%	11.7%	9.0%	0.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	30.7%	60.6%	3.9%	4.7%	1.3
		2年生	30.8%	60.7%	5.1%	3.4%	1.4
		3年生	23.4%	54.1%	14.4%	8.1%	0.9



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

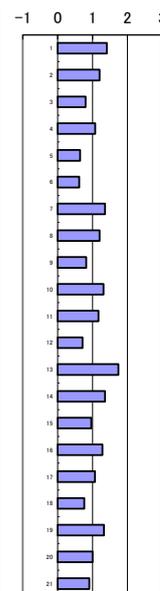


【分析・考察】

○グラフB(設問17)より
本学園生徒会が中心になって取り組んでいる飲酒運転根絶運動に対して、命の大切さについて認識を深める学びの機会であるとしっかりと考えている結果である。I-Lion dayの取組の成果である。(B-17)
○表B(設問14)より
ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)について、2学年と3学年の数値が低い。社会人として活躍するためにも学校生活のルールを守ることの大切さを生徒一人一人に心に響くように指導に努めたい。(B-14)

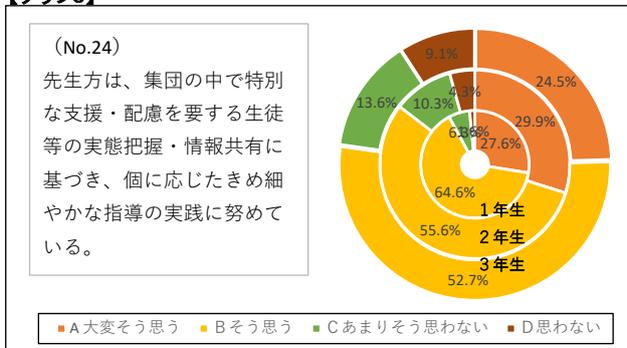
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	31.5%	61.4%	3.1%	3.9%	1.4
		2年生	29.1%	57.3%	8.5%	5.1%	1.2
		3年生	21.6%	54.1%	17.1%	7.2%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	24.4%	59.1%	12.6%	3.9%	1.1
		2年生	22.2%	47.0%	21.4%	9.4%	0.6
		3年生	17.3%	55.5%	18.2%	9.1%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	30.7%	61.4%	3.1%	4.7%	1.4
		2年生	31.6%	52.1%	11.1%	5.1%	1.2
		3年生	21.8%	55.5%	14.5%	8.2%	0.8
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	31.7%	57.1%	6.3%	4.8%	1.3
		2年生	31.6%	50.4%	12.8%	5.1%	1.2
		3年生	20.7%	54.1%	15.3%	9.9%	0.7
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	42.5%	53.5%	2.4%	1.6%	1.7
		2年生	33.3%	55.6%	6.8%	4.3%	1.4
		3年生	24.3%	56.8%	11.7%	7.2%	1.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	27.6%	63.0%	5.5%	3.9%	1.3
		2年生	24.1%	58.6%	13.8%	3.4%	1.1
		3年生	20.7%	55.9%	14.4%	9.0%	0.8
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	29.9%	59.1%	8.7%	2.4%	1.3
		2年生	24.8%	55.6%	14.5%	5.1%	1.0
		3年生	22.5%	58.6%	10.8%	8.1%	0.9



C その他

【グラフC】

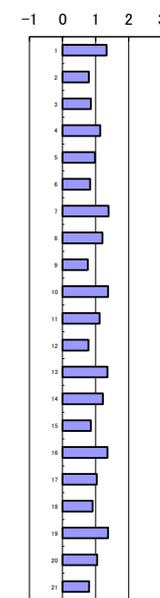


【分析・考察】

○グラフC(設問24)より
不登校経験者や特性が顕著に見受けられる生徒が少ない中、学年・教科担当者間で情報を密にし、協力した体制作りに努めている。(C-24)
○表C(設問20)より
校舎・設備に対する不満は聞こえてこないが、食堂・売店に関しては、生徒の要望やニーズに追いついていない面があるのかもしれない。(C-20)

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	32.3%	56.7%	6.3%	4.7%	1.3
		2年生	25.6%	46.2%	20.5%	7.7%	0.8
		3年生	26.1%	50.5%	13.5%	9.9%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	27.0%	57.1%	11.9%	4.0%	1.1
		2年生	27.4%	51.3%	14.5%	6.8%	1.0
		3年生	26.1%	48.6%	16.2%	9.0%	0.8
22	本学園はClassyやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	30.7%	61.4%	4.7%	3.1%	1.4
		2年生	30.8%	53.0%	12.0%	4.3%	1.2
		3年生	23.4%	52.3%	13.5%	10.8%	0.8
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	31.5%	59.8%	4.7%	3.9%	1.4
		2年生	30.8%	50.4%	12.8%	6.0%	1.1
		3年生	21.6%	54.1%	16.2%	8.1%	0.8
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	27.6%	64.6%	6.3%	1.6%	1.4
		2年生	29.9%	55.6%	10.3%	4.3%	1.2
		3年生	24.5%	52.7%	13.6%	9.1%	0.9
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	31.5%	59.1%	5.5%	3.9%	1.4
		2年生	26.5%	55.6%	11.1%	6.8%	1.0
		3年生	24.3%	53.2%	16.2%	6.3%	0.9
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	31.5%	59.8%	4.7%	3.9%	1.4
		2年生	26.7%	56.0%	10.3%	6.9%	1.1
		3年生	20.7%	55.9%	16.2%	7.2%	0.8



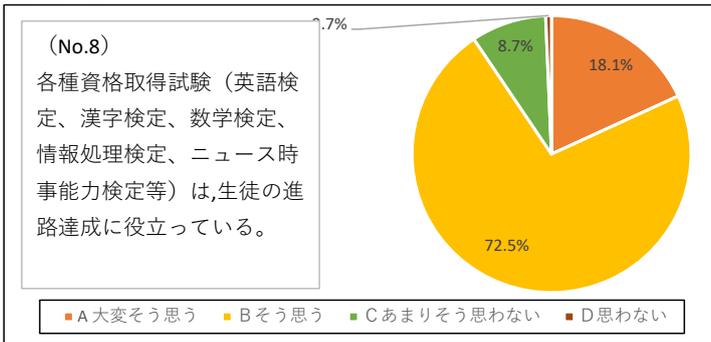
調査結果と考察

7 技能開発コース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

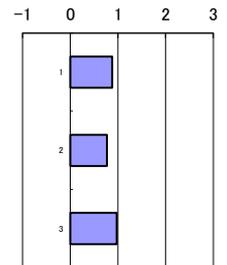
【分析・考察】

○グラフA(設問8)より
 高校時代に努力した証として各種資格取得検定試験の価値を認識している生徒が多く、その価値観が親子で共有できていることが、評価の高い要因と推察される。(A-8)
 ○表A(設問11)より
 就職・専門学校を希望する生徒が多く、コースの職員全体で面接等の指導を行い、自信をつけてから受験という流れができてきた。その部分の評価がなされているものと考えられる。(A-11)

【表A】

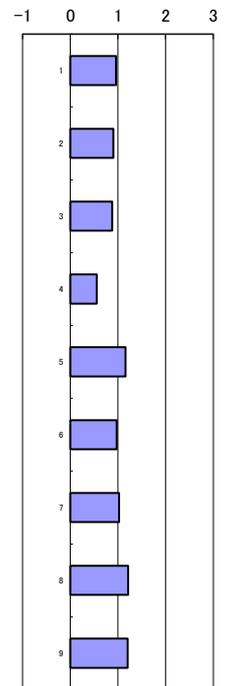
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行き、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	10.7%	73.8%	14.1%	1.3%	0.9
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	8.1%	73.8%	16.8%	1.3%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	11.5%	75.7%	12.8%	0.0%	1.0



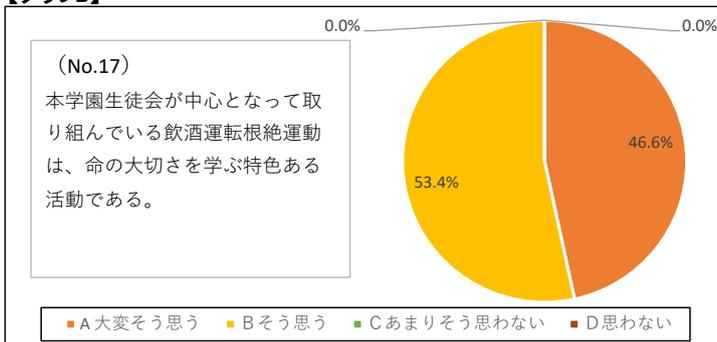
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	13.4%	72.5%	12.8%	1.3%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	9.4%	77.2%	12.8%	0.7%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	9.4%	75.8%	14.1%	0.7%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在校生懇話会」)を活用している。	5.4%	68.5%	24.8%	1.3%	0.6
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	18.1%	72.5%	8.7%	0.7%	1.2
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	11.4%	75.8%	12.8%	0.0%	1.0
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	10.8%	80.4%	8.1%	0.7%	1.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	20.9%	68.9%	10.1%	0.0%	1.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	18.9%	73.0%	7.4%	0.7%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

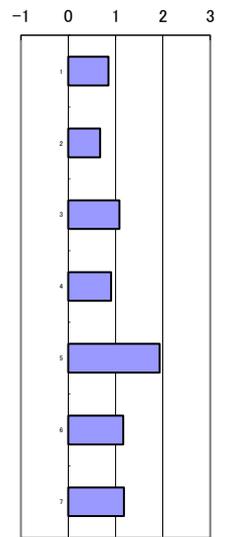


【分析・考察】

○グラフB(設問17)より
 生徒・教職員と同じく学園生徒会が中心に取り組んでいる飲酒運転根絶運動の取組に高い評価をいただいていることが現れている。命の大切さを学ぶ貴重な機会として今後も継続して取り組んでいかなければならない。(B-17)
 ○表B(設問14)より
 保護者の皆様も、ゼロディフェクト運動(学校生活正常化運動)の成果が上がっていないと評価される方が少なくない。基本的な生活習慣や服装指導等を保護者の皆さまの協力をいただきながら工夫して実施していきたい。(B-14)

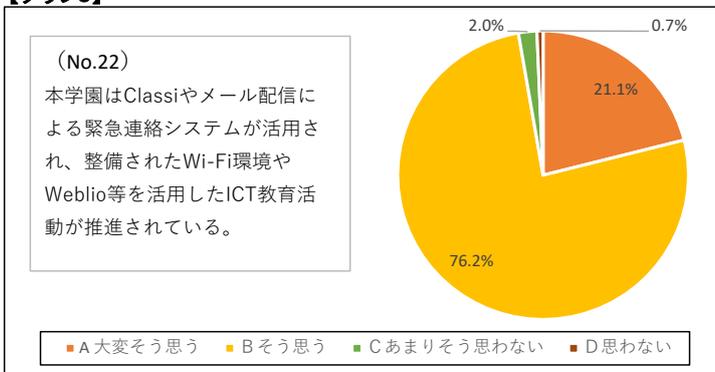
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	6.8%	79.1%	14.2%	0.0%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	4.7%	75.0%	19.6%	0.7%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	13.5%	77.0%	9.5%	0.0%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	16.2%	64.2%	18.2%	1.4%	0.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	46.6%	53.4%	0.0%	0.0%	1.9
18	本学園の「国際パカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	15.5%	77.0%	7.4%	0.0%	1.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	16.9%	75.7%	6.8%	0.7%	1.2



C その他

【グラフC】



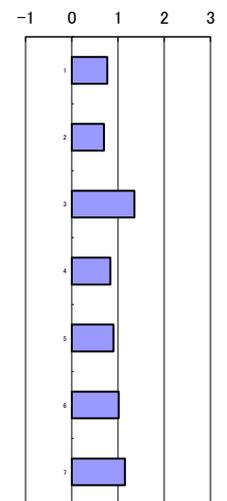
【分析・考察】

○グラフC(設問22)より
Classiやメール配信の迅速さや充実感を評価しているものと思われる。1年次生全員OwnPC購入の体制になって3年になることが、成果として現れつつある。今後は授業での活用に更なる工夫ができるようになっていきたい。(C-22)

○表C(設問26)より
新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っていると高く評価していただいている。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。(C-26)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	18.4%	56.5%	20.4%	4.8%	0.8
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	8.2%	72.6%	15.1%	4.1%	0.7
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	21.1%	76.2%	2.0%	0.7%	1.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	12.9%	67.3%	18.4%	1.4%	0.8
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	11.6%	73.3%	13.7%	1.4%	0.9
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	11.0%	80.8%	6.2%	2.1%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	17.7%	72.8%	8.8%	0.7%	1.1



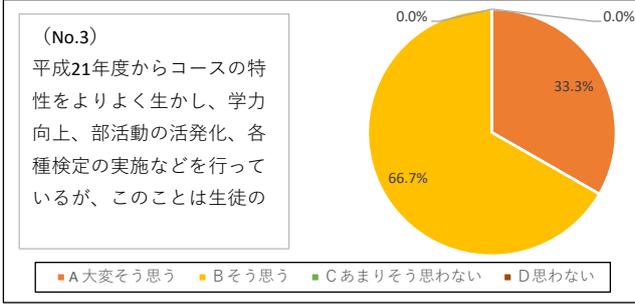
調査結果と考察

7 技能開発コース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

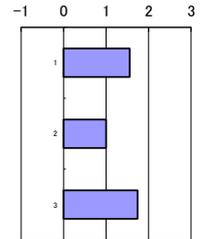
【分析・考察】

○グラフA(設問3)より
本校コースの特長である部活動や各種検定試験の取組み、学校設定科目の授業設定等が進路希望達成に役立っていることが評価されている。今後もさらに充実を図りたい。(A-3)
○表A(設問11)より
生徒の学習や進路についての悩みに先生方が適切に対応していると評価しているもので、様々な問題を抱えた生徒の悩みなどに寄り添った支援・指導に取り組んできたことの結果が現れている。(A-11)

【表A】

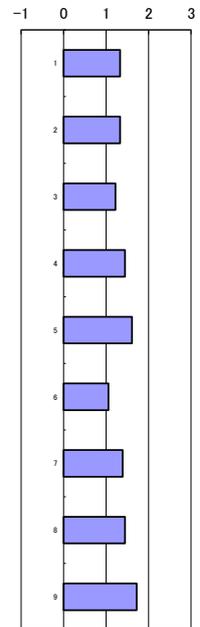
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行き、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	41.7%	50.0%	0.0%	8.3%	1.5
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	25.0%	58.3%	8.3%	8.3%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7



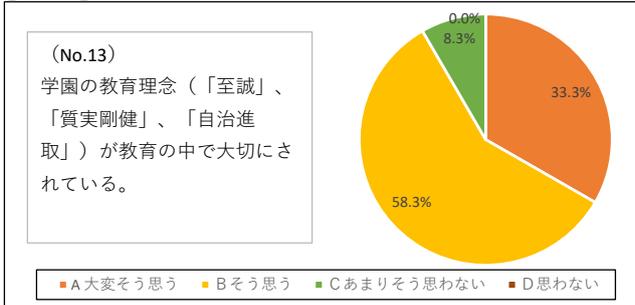
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	16.7%	58.3%	25.0%	0.0%	0.8
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	8.3%	75.0%	16.7%	0.0%	0.8
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	25.0%	66.7%	0.0%	8.3%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	1.8
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	16.7%	41.7%	41.7%	0.0%	0.5
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	1.2
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	2.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

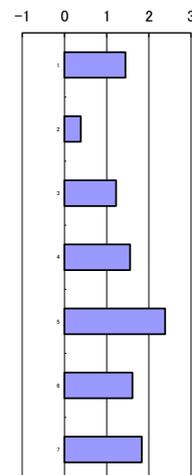


【分析・考察】

○表B(設問13)より
1年次の総合的な探究の時間において体系的に建学の精神を学んでいること、東和堂雪校舎研修における意識付けが功を奏している。教員もあらゆる場面で学園の教育理念を意識した教育活動を心掛けている。(B-13)
○グラフB(設問14)より
低い評価値にはなっているが、日常的に声掛けを行い指導しているところは高く評価したい。教員と生徒の信頼関係を築きながら、あるべき仙台育英学園生の姿になるよう粘り強い指導と支援を継続していく。(B-14)

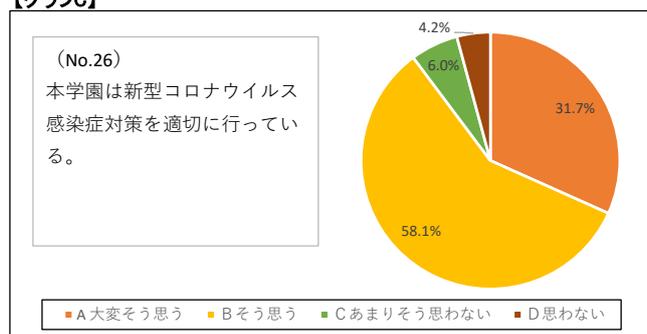
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%	1.5
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	21.0%	61.7%	13.8%	3.6%	1.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	24.6%	65.9%	6.6%	3.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	22.8%	64.1%	9.0%	4.2%	1.1
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	31.7%	57.5%	8.4%	2.4%	1.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	23.4%	67.7%	7.2%	1.8%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	25.1%	64.7%	6.6%	3.6%	1.2



C その他

【グラフC】



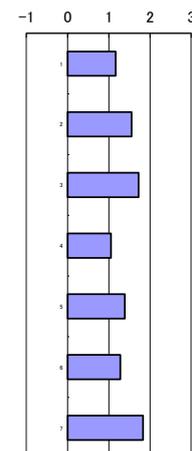
【分析・考察】

○グラフC(設問26)より
予防策の徹底と発生後の迅速かつ適切な対応が各クラス担任・部活動顧問とも徹底していることが評価に繋がっている。(C-26)

○表C(設問22)より
Classiやメール配信の迅速さや充実感を評価しているものと思われる。1年次生全員がOwnPCを購入して3年目となる。クラスごとの連絡や教科からの課題配信等は充実してきたが、今後は、授業での活用に更なる工夫ができるようになっていきたい。(C-22)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	32.3%	52.7%	8.4%	6.6%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	25.3%	62.7%	9.0%	3.0%	1.2
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	27.5%	60.5%	7.8%	4.2%	1.2
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	26.9%	64.7%	6.6%	1.8%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	21.6%	67.7%	8.4%	2.4%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	25.7%	63.5%	8.4%	2.4%	1.3
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	31.7%	58.1%	6.0%	4.2%	1.3



調査結果と考察

8 沖縄高等学校

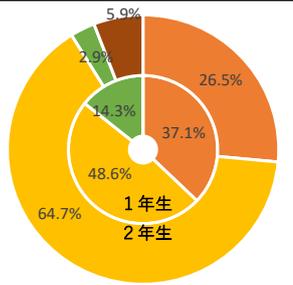
(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

(No.6)

個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。



■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない

評価平均値 = (A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

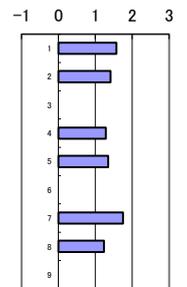
【分析・考察】

(1) グラフA(設問6)より、「個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。」について、「思わない」「あまりそう思わない」が、1年次14.3%→2年次8.8%と減少している。学習に対するモチベーションも含めて、「学び方を学ぶ」ことへの理解が深まってきていると推察している。
 (2) 設問12より、「本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」「教育懇談会」を適切に実施している。」について、「大変そう思う」「そう思う」の合計が1年次で100%、2年次で97.1%となっているが、常に生徒に寄り添い、保護者への報告や連絡を綿密に行っているため、学校と家庭が連携できていると考えられる。引き続き、丁寧に対応していく。

【表A】

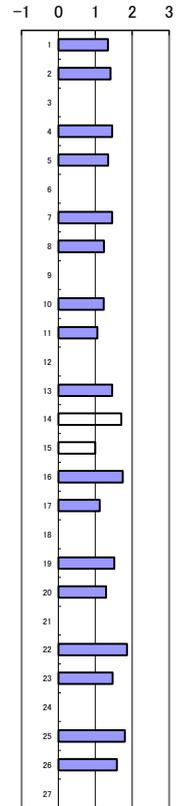
I 授業について

No.	設問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	31.4%	65.7%	2.9%	0.0%	1.6
		2年生	23.5%	73.5%	2.9%	0.0%	1.4
		3年生					0.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	25.7%	62.9%	11.4%	0.0%	1.3
		2年生	23.5%	73.5%	0.0%	2.9%	1.4
		3年生					0.0
3	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	28.6%	62.9%	5.7%	2.9%	1.8
		2年生	29.4%	55.9%	11.8%	2.9%	1.2
		3年生					0.0



II 教育課程について

No.	設問		A	B	C	D	評価値
4	本学園が実施している定期考査・評価期間・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるように工夫されている。	1年生	28.6%	60.0%	11.4%	0.0%	1.3
		2年生	26.5%	70.6%	0.0%	2.9%	1.4
		3年生					0.0
5	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	31.4%	60.0%	8.6%	0.0%	1.5
		2年生	29.4%	61.8%	5.9%	2.9%	1.4
		3年生					0.0
6	個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	1年生	37.1%	48.6%	14.3%	0.0%	1.5
		2年生	26.5%	64.7%	2.9%	5.9%	1.2
		3年生					0.0
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等)を活用している。	1年生	31.4%	51.4%	14.3%	2.9%	1.2
		2年生	20.6%	67.6%	5.9%	5.9%	1.1
		3年生					0.0
8	各種資格・検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	37.1%	48.6%	14.3%	0.0%	1.5
		2年生	41.2%	55.9%	0.0%	2.9%	1.7
		3年生					1.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後や夏休みの自主学習等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	40.0%	57.1%	2.9%	0.0%	1.7
		2年生	20.6%	67.6%	8.8%	2.9%	1.1
		3年生					0.0
10	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	31.4%	62.9%	5.7%	0.0%	1.5
		2年生	26.5%	64.7%	5.9%	2.9%	1.3
		3年生					0.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	45.7%	51.4%	2.9%	0.0%	1.9
		2年生	29.4%	67.6%	0.0%	2.9%	1.5
		3年生					0.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
		2年生	35.3%	61.8%	0.0%	2.9%	1.6
		3年生					0.0

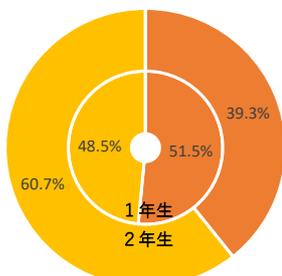


B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

(No.15)

うちな一育英祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。



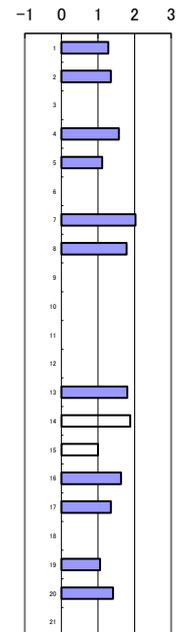
【分析・考察】

(1) 設問15より、「うちな一育英祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。」について、「大変そう思う」「そう思う」で1年次・2年次ともに100%と回答していることから、概ね満足している様子を伺うことができる。次年度は3学年が揃うことで、様々な化学反応が起きて、更なる目的の達成が得られると考えている。
 (2) 設問19より、「本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。」について、「思わない」「あまり思わない」の合計が1年次で17.1%となっている。2年次と比較すると大きな開きがあるが、新型コロナウイルスに罹患することがほぼなかった学年であり、対策や生活様式も一般化し且つ新たに対策を講じることがなくなったといえる。今後も油断しないように注意喚起していく。

■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

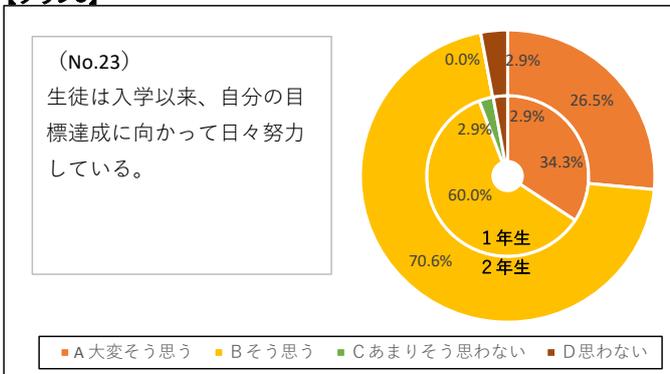
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」「質実剛健」「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	31.4%	54.3%	11.4%	2.9%	1.3
		2年生	26.5%	64.7%	8.8%	0.0%	1.4
		3年生					0.0
14	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	37.1%	57.1%	2.9%	2.9%	1.6
		2年生	23.5%	61.8%	11.8%	2.9%	1.1
		3年生					0.0
15	うちな一育英祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	51.5%	48.5%	0.0%	0.0%	2.0
		2年生	39.3%	60.7%	0.0%	0.0%	1.8
		3年生					0.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生					0.0
		2年生					0.0
		3年生					0.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	48.6%	42.9%	8.6%	0.0%	1.8
		2年生	52.9%	41.2%	2.9%	2.9%	1.9
		3年生					1.0
18	本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。	1年生	37.1%	57.1%	5.7%	0.0%	1.6
		2年生	26.5%	67.6%	2.9%	2.9%	1.4
		3年生					0.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	22.9%	60.0%	14.3%	2.9%	1.1
		2年生	29.4%	64.7%	2.9%	2.9%	1.4
		3年生					0.0



C その他

【グラフC】



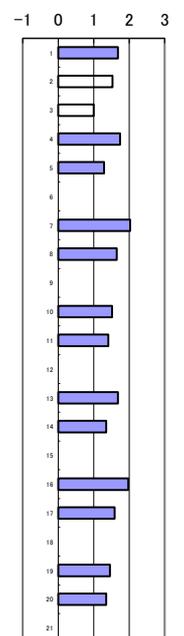
【分析・考察】

(1) 設問23より、「生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。」について、「大変そう思う」「そう思う」の回答が1年次97.1%、2年次84.3%となっている。ICT教育やアントレプレナーシップ教育を全面に押し出し、IT系の資格取得に対する意識付けが結果として出ていると考えられる。「思わない」「あまりそう思わない」という生徒もいることを認識し、取りこぼさないように進めていきたい。

(2) 設問22より、「本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。」について、「大変そう思う」「そう思う」の回答が100.0%となっている。特色を理解し、しっかり使い切っている評価だと思われる。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎全般・ICT室・体育実習室等)に生徒は満足している。	1年生	40.0%	54.3%	5.7%	0.0%	1.7
		2年生	38.2%	52.9%	5.9%	2.9%	1.5
		3年生					
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	37.1%	62.9%	0.0%	0.0%	1.7
		2年生	26.5%	64.7%	5.9%	2.9%	1.3
		3年生					0.0
22	本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	51.4%	48.6%	0.0%	0.0%	2.0
		2年生	38.2%	58.8%	0.0%	2.9%	1.6
		3年生					0.0
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	34.3%	60.0%	2.9%	2.9%	1.5
		2年生	26.5%	70.6%	0.0%	2.9%	1.4
		3年生					0.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	37.1%	60.0%	2.9%	0.0%	1.7
		2年生	32.4%	58.8%	2.9%	5.9%	1.4
		3年生					0.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	51.4%	45.7%	2.9%	0.0%	2.0
		2年生	35.3%	61.8%	0.0%	2.9%	1.6
		3年生					0.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	42.9%	42.9%	8.6%	5.7%	1.5
		2年生	32.4%	55.9%	8.8%	2.9%	1.4
		3年生					0.0



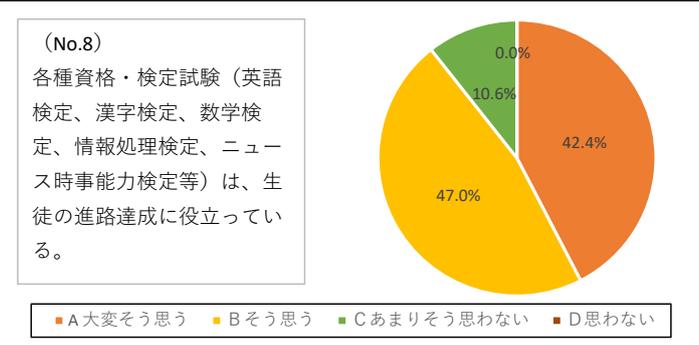
調査結果と考察

8 沖繩高等学校

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

[グラフA]



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

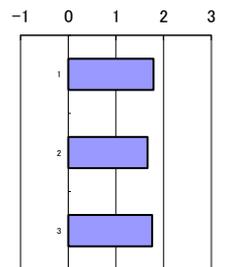
[分析・考察]

(1) 設問8より「各種資格・検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。」について、「あまりそう思わない」が10.6%となっている。英語検定や数学検定については未実施であることも考えられるが、IT系の資格取得の機会が学年進行で増えていくため、今後はこの割合が「大変そう思う」に移行していくものと考えられる。
(2) 設問12より、「本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。」について、「大変そう思う」「そう思う」で100%となっている。担任団というシステムを十分活用し、情報共有も出来ているため負担感なく実施できていると考える。

[表A]

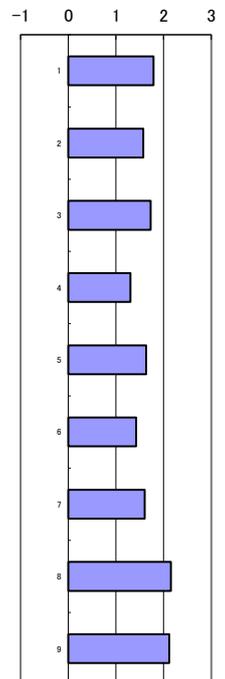
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	45.5%	48.5%	6.1%	0.0%	1.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	36.4%	60.6%	3.0%	0.0%	1.7
3	学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	45.5%	47.0%	7.6%	0.0%	1.8



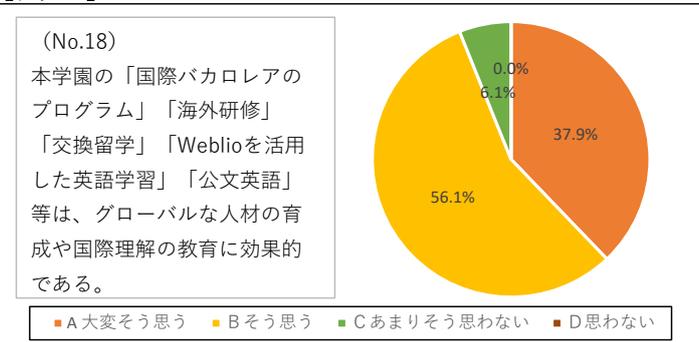
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属している本校の学習に満足している。	47.0%	45.5%	7.6%	0.0%	1.8
5	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	37.9%	53.0%	9.1%	0.0%	1.6
6	個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	42.4%	51.5%	6.1%	0.0%	1.7
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等）を活用している。	28.8%	57.6%	13.6%	0.0%	1.3
8	各種資格・検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	42.4%	47.0%	10.6%	0.0%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後や夏休みの自主学習等）は、生徒の進路達成に役立っている。	30.3%	60.6%	9.1%	0.0%	1.4
10	本学園が実施している定期考査・評価期間・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるように工夫されている。	37.9%	54.5%	7.6%	0.0%	1.6
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	59.1%	39.4%	1.5%	0.0%	2.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	56.1%	43.9%	0.0%	0.0%	2.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

[グラフB]

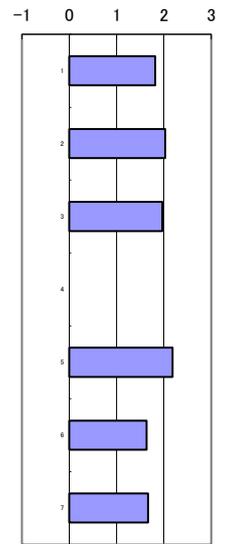


[分析・考察]

(1) 設問18より、「本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。」について、「あまりそう思わない」が6.1%となっている。前年度が14.7%であることを考えると、英語教育に対して理解が進んだと考察できる。
(2) 設問15より、「本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。」について、「大変そう思う」「そう思う」で100%。ボランティア清掃活動については、月1回の地域清掃活動を基本として、学校近隣の清掃活動やKOZAROCKSなどを実施していた結果と考えられる。地域に根差した学校づくりをさらに推し進めていきたい。

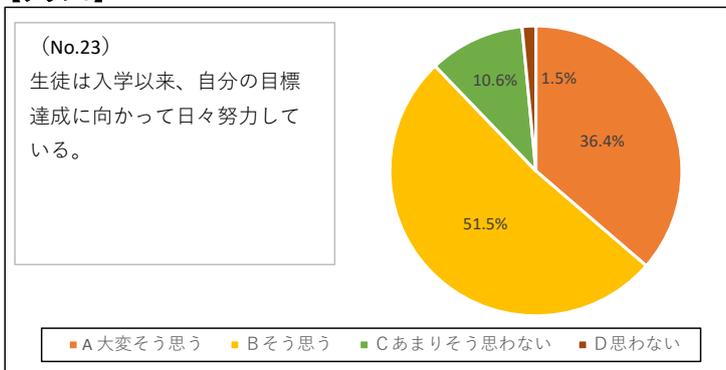
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	43.9%	53.0%	3.0%	0.0%	1.8
14	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	51.5%	48.5%	0.0%	0.0%	2.0
15	うちな一育英祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	53.0%	42.4%	4.5%	0.0%	2.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。					0.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	60.6%	37.9%	1.5%	0.0%	2.2
18	本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。	37.9%	56.1%	6.1%	0.0%	1.6
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	39.4%	54.5%	6.1%	0.0%	1.7



C その他

【グラフC】



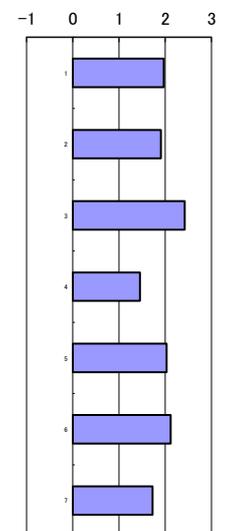
【分析・考察】

(1)設問23より、「生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。」について、「あまりそう思わない」「思わない」が12.1%となっている。三者面談の振り返りなどから考察するに、そもそも目標そのものが未決である生徒が多く、進路のみならず小目標や中目標などから自己肯定感を高める指導が必要と感じている。

(2)設問22より、「本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。」について、「大変そう思う」が71.2%であった。お知らせに加えて、各種申請などもデジタル上で行うなどの徹底的なペーパーレスと利便性が見て取れる。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎全般・ICT室・体育実習室等)に生徒は満足している。	54.5%	39.4%	6.1%	0.0%	2.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	51.5%	43.9%	3.0%	1.5%	1.9
22	本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。	71.2%	28.8%	0.0%	0.0%	2.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	36.4%	51.5%	10.6%	1.5%	1.5
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	54.5%	42.4%	3.0%	0.0%	2.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	57.6%	40.9%	1.5%	0.0%	2.1
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	1.7



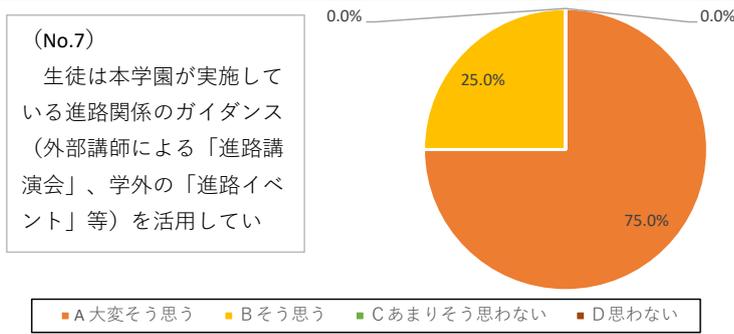
調査結果と考察

8 沖縄高等学校

(3) 教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



【分析・考察】

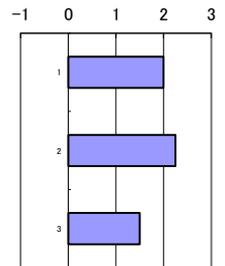
(1)設問7より、「生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等)を活用している。」について、「大変そう思う」が75.0%となった。前年度が「あまりそう思わない」「思わない」が11.9%であることを考えると、大きな進歩であると考えられる。「情報発信をしっかりと行う必要がある」という目標を達成できたため引き続き続けていきたい。

(2)設問4より、「個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属している本校の学習に満足している。」について、「あまりそう思わない」が12.5%となった。本校の在校生は学力的にもレンジが広く、「個々の能力に応じた教育内容」については課題として認識を常に持っている。各教科で創意工夫をしながら、個別最適な学習を進めていきたい。

【表A】

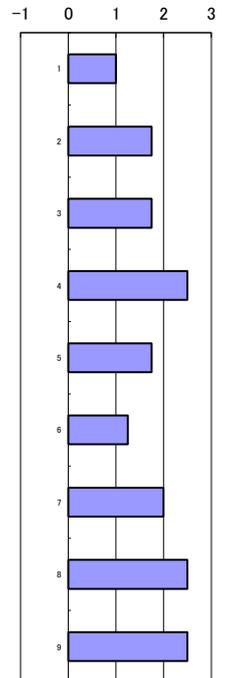
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	2.3
3	学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	1.5



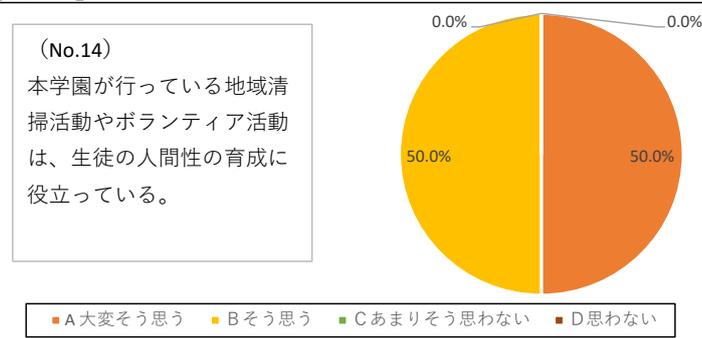
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属している本校の学習に満足している。	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%	1.0
5	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	1.8
6	個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	1.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等)を活用している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
8	各種資格・検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	1.8
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後や夏休みの自主学習等)は、生徒の進路達成に役立っている。	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	1.3
10	本学園が実施している定期考査・評価期間・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるように工夫されている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



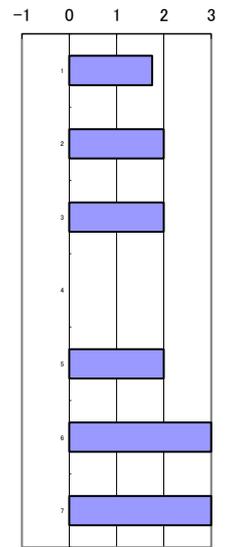
【分析・考察】

(1)設問14より、「本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。」について、「大変そう思う」が50.0%。地域清掃活動が生徒主体で行われることや、課題点などを生徒自身で見つけられよう仕掛けづくりが必要だと感じた。「大変そう思う」の割合が増えるように施策を打ちたい。

(2)設問17より、「本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。」について、「大変そう思う」で50.0%。前年度の62.5%から減少しているのは、行事企画にも課題感があり、飲酒運転根絶運動に丁寧にアプローチする必要がある。

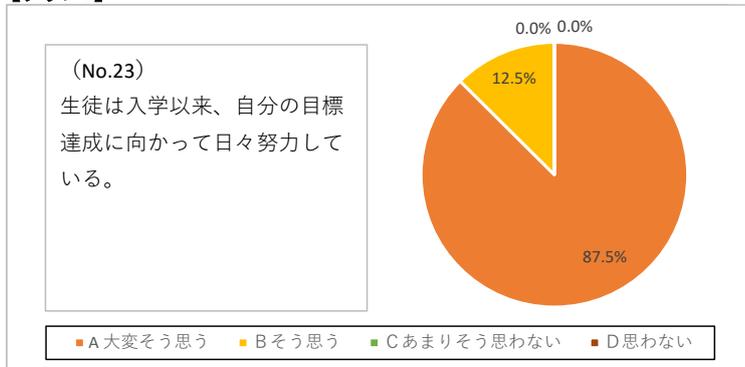
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	1.8
14	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
15	うちな一育英祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。					0.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

(1)設問23より、「先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。」について、「大変そう思う」が前年度が50.0%であったものの、今年度は87.5%となった。個々の生徒の様々な背景を担当団が理解し、対応のスキルを獲得した結果だと考察している。「大変そう思う」が少なくとも7割を超えるような目標設定を達成できたことは大きい。

(2)設問22より、「本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。」について、「大変そう思う」が50.0%であった。ICTを先進的に使用する本校にとっては100%に近いぐらいを目標としたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎全般・ICT室・体育実習室等)に生徒は満足している。	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	1.8
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.8
22	本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
23	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.8
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%	1.3
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5

